

第2期いの町まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和5年度 効果検証シート



〔目次〕

- 基本目標 1 . . . 3 ページ～ 4 2 ページ
- 基本目標 2 . . . 4 3 ページ～ 5 6 ページ
- 基本目標 3 . . . 5 7 ページ～ 7 5 ページ
- 基本目標 4 . . . 7 6 ページ～ 8 2 ページ

基本目標1 産業活性化と安定した雇用を創出する

基本的方向	連番	担当課	具体的な施策(詳細)	単位	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値	R5 目標値	R5 実績値	総合評価	R6(最終年度) 時点	累計
(1)地産の強化を図る (ア)農業の振興を図る	1	産業経済課	利用権新規設定数	件	10	27	10	15	10	12	10	20	◎	10	
	2	産業経済課	農地中間管理機構利用数 出し手(件数)	件	5	2	5	0	5	0	5	0	△	5	
	3	産業経済課	農地中間管理機構利用数 出し手(面積)	ha	1	0.45	1	0	1	0	1	0	△	1.0	
	4	産業経済課	農地中間管理機構利用数 受け手(件数)	件	3	1	3	0	3	0	3	0	△	3	
	5	産業経済課	農地中間管理機構利用数 受け手(面積)	ha	1.2	0.25	1.2	0	1.2	0	1.2	0	△	1.2	
	6	産業経済課・吾北産業課	中山間地域等直接支払集落協定締結数	集落	18	17	19	17	18	17	18	17	△	18	
	7	産業経済課・吾北産業課	中山間地域等直接支払集落協定面積	m ²	1,448,032	1,192,587	1,448,032	1,200,200	1,448,032	1,191,922	1,448,032	1,171,760	△	1,448,032	
	8	産業経済課	多面的機能支払対象組織数	組織	2	2	2	2	2	1	2	1	△	2	
	9	産業経済課・吾北産業課	集落営農組織数	組織	12	1	12	11	12	11	12	11	△	12	
	10	吾北産業課	作業受託面積	ha	15	19	15	21	15	25	15	25	◎	15	
	11	産業経済課	農業次世代人材投資資金(経営開始型) 夫婦型	組	1	0	1	0	2	0	2	0	△	3	○
	12	産業経済課	農業次世代人材投資資金(経営開始型) 単独型	人	1	0	2	1	5	2	6	3	△	7	○
	13	産業経済課	高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 生姜	千円	255,000	291,450	255,000	248,903	255,000	236,361	255,000	230,451	△	255,000	
	14	産業経済課	高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 里芋・白芽芋	千円	6,025	3,513	6,025	3,640	6,025	4,561	6,025	4,925	△	6,028	
	15	吾北産業課	高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 柚子	千円	35,000	31,914	35,000	27,256	35,000	16,407	35,000	32,526	△	35,000	
	16	吾北産業課	高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 わさび	千円	4,500	3,610	4,500	3,674	4,500	1,895	4,500	2,261	△	4,500	
	17	本川産業建設課	本川きじの販売額	千円	32,927	14,210	32,927	12,969	32,927	14,936	32,927	18,284	△	32,927	
	18	吾北産業課	森の小さなお菓子屋さん	%	110	87	110	80	110	92	110	100	△	110	
	19	吾北産業課	吾北物産出荷協議会の売上	%	105	90	105	81	105	81	105	78	△	105	
	20	産業経済課	有害鳥獣捕獲数	頭(羽)	2,400	1,900	2,400	1,590	2,400	2,125	2,400	1,740	△	2,400	
	21	産業経済課	電気柵設置数	件	40	59	40	40	40	44	40	37	△	40	
	22	産業経済課・吾北産業課・本川産業建設課	狩猟免許取得補助数	件	10	10	10	10	10	14	10	8	△	10	
	23	産業経済課・吾北産業課	新規就農者数	人	4	1	8	3	12	4	16	6	△	20	○
	24	産業経済課・吾北産業課	新規就農研修生	人	2	1	2	2	4	3	4	3	△	6	○

(イ)林業の振興	25	森林政策課	原木生産量	m以上	-	(暫定値) 28286	-	(暫定値) 31861	-	(暫定値) 33899	-	(暫定値) 18,381	評価なし	50,000	
	26	土木課・吾北建設課・本川産業経済課	林道整備(開設)	m	1,400	1,171	1,900	2,109	2,600	2,987	3,200	3,843	◎	4,000	○
(ウ)ものづくりや 地元産業の振興	27	産業経済課	新規立地件数	件	-	0	-	0	-	0	-	0	評価なし	1	○
	28	産業経済課	中心市街地 新規開業事業所数	事業所	2	2	2	8	1	4	1	2	◎	7	○
	29	産業経済課	伊野製紙工業会会員の売上	百万円	23,000	23,108	23,000	24,290	23,000	20,000	23,000	23,000	○	23,000	
	30	産業経済課	高知県手すき和紙協同組合・紙の博物館の売上	万円	1,700	747	1,700	829	1,700	1,118	1,700	1,265	△	1,700	
	31	産業経済課	手すき職人数	人	7	6	7	6	7	6	7	6	△	7	
(エ)地産地消の徹底	32	産業経済課、吾北産業課、本川産業建設課	直販店の販売額	万円	27,270	25,400	27,270	25,687	27,270	26,453	27,270	39,078	◎	27,270	
	33	教育委員会	学校給食の食材における地場産物の活用割合(金額ベース)	%	65	62	65	58	65	53	65	50	△	65	
(2)外商の強化を図る	34	産業経済課	体験型プログラム参加人数	人	26,599	14,489	29,546	18,612	29,841	22,629	30,139	25,144	△	30,440	
	35	産業経済課	体験料収入	千円	50,799	32,065	58,141	38,621	58,723	43,996	59,310	42,640	△	59,903	
(3)雇用の創出を図る	36	産業経済課・吾北産業課	新規就農者数	人	4	1	8	3	12	4	16	6	△	20	○
	37	産業経済課	新規就農研修生	人	2	1	2	2	4	3	4	3	△	6	○
	38	森林政策課	新規林業就業者	人	-	5	-	11	-	13	-	15	評価なし	15	○
	39	森林政策課	新規林業就業者への研修支援	人	-	12	-	28	-	41	-	48	評価なし	55	○
	40	総合政策課	大学等との連携した事業展開検討	件	3	2	3	1	3	1	3	3	○	3	

※連番36と37は、連番23と24の再掲分

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

1

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	利用権新規設定数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★利用権新規設定数	10	件	6	件	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	10	10	10	10	10	件
実績値	27	15	12	20		件
目標に対する達成率	270%	150%	120%	200%		単年度目標
基準値に対する増減率	350%	150%	100%	233%		
評価	◎	◎	◎	◎		
PLAN: 取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	窓口や現地での相談の際に利用権の設定を促すことで、目標値を超える結果となった。					
CHECK: 分析	窓口や現地での周知により目標達成したと思われる。					
ACTION: 今後の対応	引き続き、基盤整備や農業補助制度の説明会の中でも当制度についても周知を行い、目標数値達成を図る。					

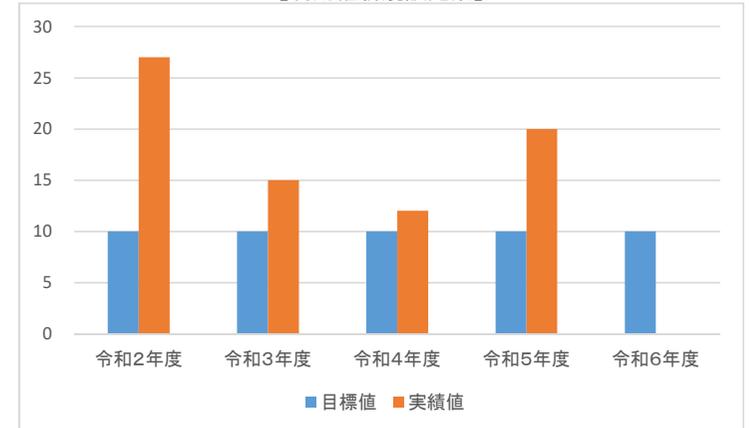
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【利用権新規設定数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

2

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	農地中間管理機構利用数 出し手(件数)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農地中間管理機構利用数 出し手(件数)	5	件	0	件	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	5	5	5	5	5	件
実績値	2	0	0	0		件
目標に対する達成率	40%	0%	0%	0%		単年度目標
基準値に対する増減率	200%	0%	0%	0%		
評価	△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	相談はあったが結果的に利用権設定により解決するなどにより実績は0となった。					
CHECK: 分析	相談は数件あったが既に相手方が決まっている場合が多く、利用権設定の対応となった。					
ACTION: 今後の対応	引き続き、基盤整備や農業補助制度の説明会の中で当制度についても周知を行い、目標数値達成を図る。					

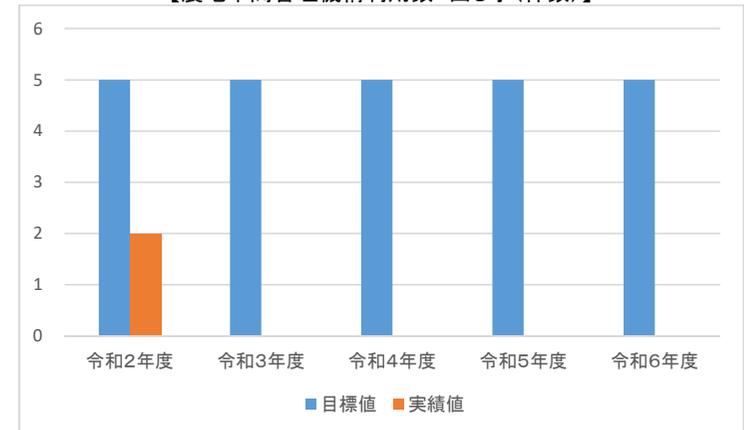
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【農地中間管理機構利用数 出し手(件数)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

3

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	農地中間管理機構利用数 出し手(面積)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農地中間管理機構利用数 出し手(面積)	1	ha	0	ha	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	1	1	1	1	1	ha
実績値	0.45	0	0	0		ha
目標に対する達成率	45%	0%	0%	0%		単年度目標
基準値に対する増減率	45%	0%	0%	0%		
評価	△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	相談はあったが結果的に利用権設定により解決するなどにより実績は0となった。					
CHECK: 分析	相談は数件あったが既に相手方が決まっている場合が多く、利用権設定の対応となった。					
ACTION: 今後の対応	引き続き、基盤整備や農業補助制度の説明会の中で当制度についても周知を行い、目標数値達成を図る。					

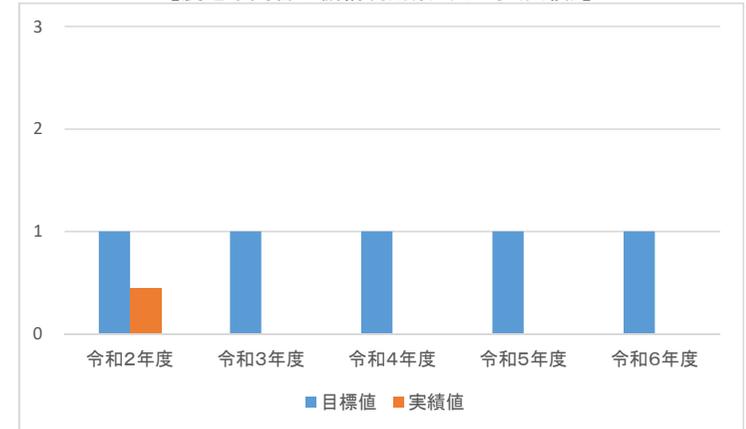
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【農地中間管理機構利用数 出し手(面積)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

4

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	農地中間管理機構利用数 受け手(件数)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農地中間管理機構利用数 受け手(件数)	3	件	0	件	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	3	3	3	3	3	件
実績値	1	0	0	0		件
目標に対する達成率	33%	0%	0%	0%		単年度目標
基準値に対する増減率	100%	0%	0%	0%		
評価	△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	相談はあったが結果的に利用権設定により解決するなどにより実績は0となった。					
CHECK: 分析	相談は数件あったが既に相手方が決まっている場合が多く、利用権設定の対応となった。					
ACTION: 今後の対応	引き続き、基盤整備や農業補助制度の説明会の中で当制度についても周知を行い、目標数値達成を図る。					

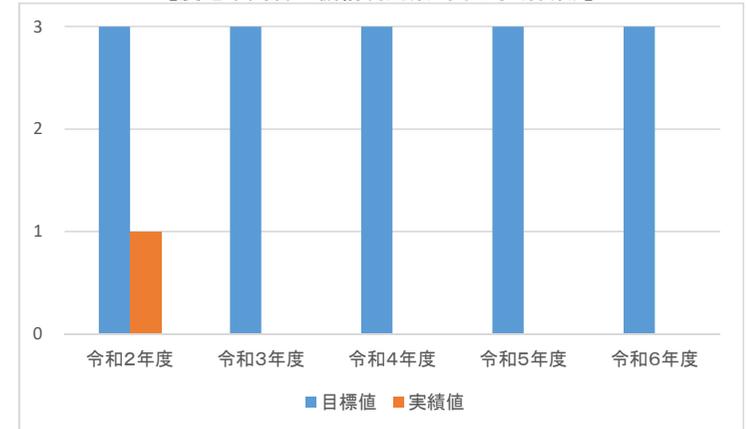
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【農地中間管理機構利用数 受け手(件数)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

5

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1)	地産の強化を図る					
具体的な施策	ア	農業の振興					
	①	農地の保全管理					
項目	★	農地中間管理機構利用数 受け手(面積)					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度		
	令和6年度				実績等		
産業経済課	★農地中間管理機構利用数 受け手(面積)	1.2	ha	0	ha		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値		1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	ha
実績値		0.25	0	0	0		ha
目標に対する達成率		21%	0%	0%	0%		単年度目標
基準値に対する増減率		25%	0%	0%	0%		
評価		△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	担い手等、耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。(利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)						
DO: 実績 (事業内容等を記載)	相談はあったが結果的に利用権設定により解決するなどにより実績は0となった。						
CHECK: 分析	相談は数件あったが既に相手方が決まっている場合が多く、利用権設定の対応となった。						
ACTION: 今後の対応	引き続き、基盤整備や農業補助制度の説明会の中で当制度についても周知を行い、目標数値達成を図る。						

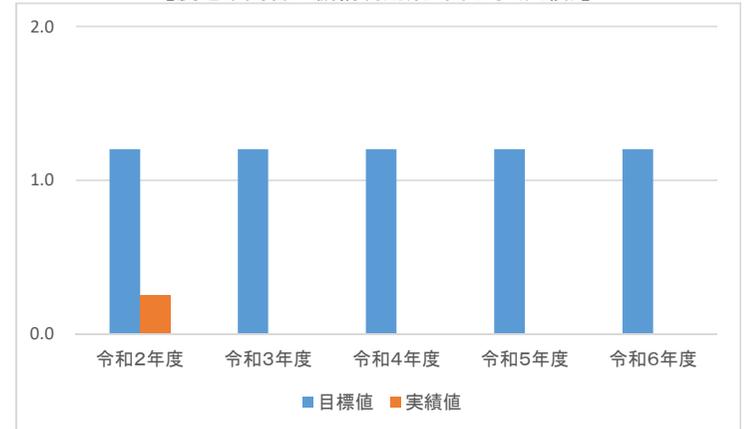
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【農地中間管理機構利用数 受け手(面積)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

6

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1)	地産の強化を図る					
具体的な施策	ア	農業の振興					
	①	農地の保全管理					
項目	★	中山間地域等直接支払集落協定締結数					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度		
	令和6年度				実績等		
産業経済課・吾北産業課	★中山間地域等直接支払集落協定締結数	18	集落		20	集落	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値		18	19	18	18	18	集落
実績値		17	17	17	17		集落
目標に対する達成率		94%	89%	94%	94%		単年度目標
基準値に対する増減率		-15%	-15%	-15%	-15%		
評価		△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	中山間地域における生産条件に関する不利を補正すると共に農業・農村の有する多面的機能の発揮を維持・促進するため、四期対策で撤退した集落協定を中心に集落活動に対する意向を聴取し、目標達成を目指す。						
DO: 実績 (事業内容等を記載)	各種説明会で制度の説明を行い集落協定数の増加を目指したが、新規の集落協定は無く目標値に届かなかった。						
CHECK: 分析	条件不利地域における農業生産条件の不利を補正することを目的の一つとして掲げる制度であるが、高齢化や流出等により担い手が減少し、代表者として協定を牽引する人材が不足しているものとする。						
ACTION: 今後の対応	説明会や制度の周知を図ることで、集落協定数の増加を目指す。						

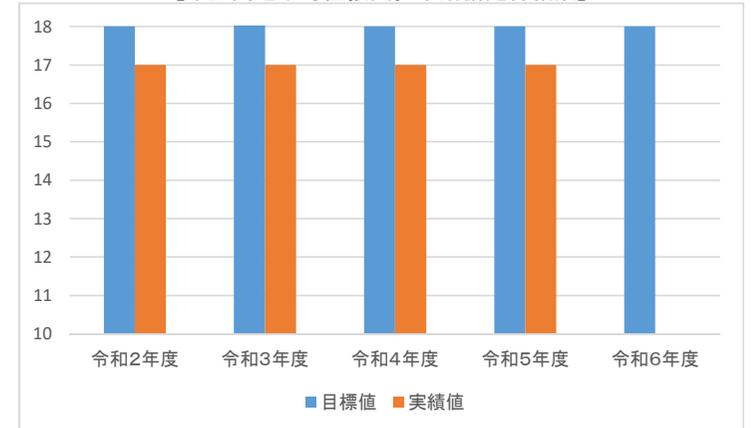
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【中山間地域等直接支払集落協定締結数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

7

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1)	地産の強化を図る					
具体的な施策	ア	農業の振興					
	①	農地の保全管理					
項目	★	中山間地域等直接支払集落協定面積					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度		
	令和6年度				実績等		
産業経済課・吾北産業課	★中山間地域等直接支払集落協定面積	1,448,032	m ²	1,520,900	m ²		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値		1,448,032	1,448,032	1,448,032	1,448,032	1,448,032	m ²
実績値		1,192,587	1,200,200	1,191,922	1,171,760		m ²
目標に対する達成率		82%	83%	82%	81%		単年度目標
基準値に対する増減率		-22%	-21%	-22%	-23%		
評価		△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	中山間地域における生産条件に関する不利を補正すると共に農業・農村の有する多面的機能の発揮を維持・促進するため、四期対策で撤退した集落協定の農地や担い手を、5期対策の参加協定に取り組み、目標値の達成を目指す。						
DO: 実績 (事業内容等を記載)	高齢化に伴い、農地の保全・管理が不可能になった箇所が発生し面積が減少した。						
CHECK: 分析	面積がやや減少したものの原則1期5年は耕作等を行わなければならない制度であることから、現状維持に近い数値で留まっている。						
ACTION: 今後の対応	今後も各種説明会を通し、制度の周知を図ることで集落協定数の増加を目指す。また、現在の集落協定の地域で耕作等を行う農地を洗い出し、面積の増加に努めていく。						

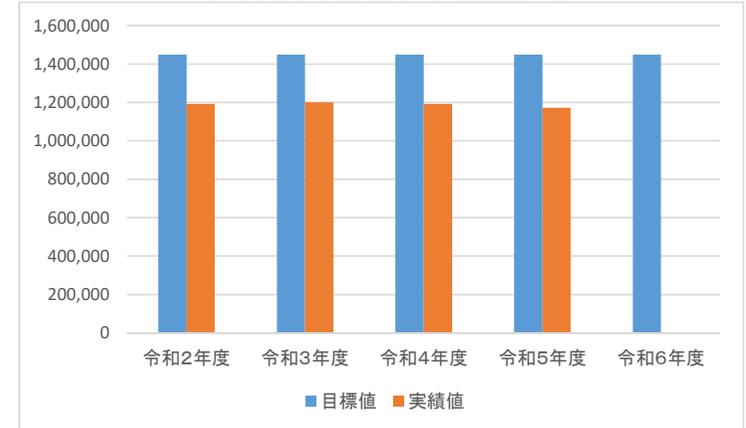
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【中山間地域等直接支払集落協定面積】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

8

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	多面的機能支払対象組織数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★多面的機能支払対象組織数	2	組織		3	組織
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	2	2	2	2	2	組織
実績値	2	2	1	1		組織
目標に対する達成率	100%	100%	50%	50%		単年度目標
基準値に対する増減率	-33%	-33%	-67%	-67%		
評価	○	○	△	△		
PLAN: 取組内容	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を支援(多面的機能支払制度)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	1組織が継続して活動を行った。					
CHECK: 分析	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を行うことができたものの、活動を行うにあたり、地域リーダーの不在や高齢化が原因となっている。					
ACTION: 今後の対応	今後も引き続き、個別の説明会の開催などにより活動組織の増加を図る。また現在活動している組織の面積、交付金額の増を目指す。					

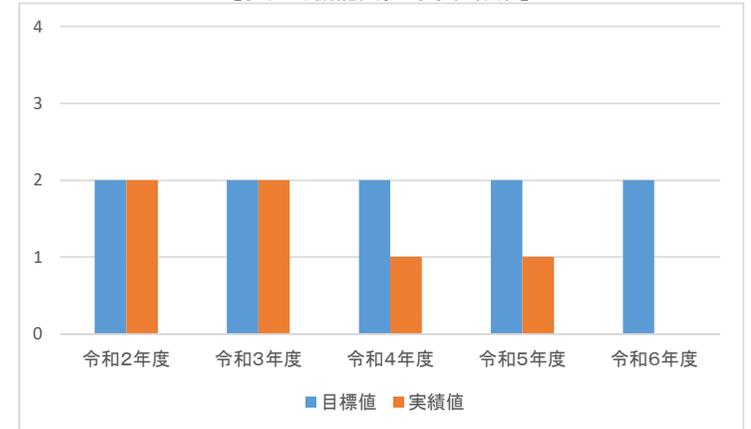
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【多面的機能支払対象組織数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

9

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	集落営農組織数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★集落営農組織数	12	組織	11	組織	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	12	12	12	12	12	組織
実績値	11	11	11	11		組織
目標に対する達成率	92%	92%	92%	92%		単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%	0%		
評価	△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	定例会等に参加し、そこで持ち上がった課題や活動方針に対しサポートを行い、組織の存続に取り組む。 また、県の農業振興センターと協力し、組織発足を希望する集落の掘り起こしを行う。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	現組織の存続に留まった。					
CHECK: 分析	各組織とも高齢化とリーダー不足が課題である。					
ACTION: 今後の対応	今後の担い手である新規就農者や認定農業者等を中心にリーダーの発掘を行う。育成においては、補助事業を活用した新規就農者の確保等を県の農業振興センターやJAと連携し行っていく。					

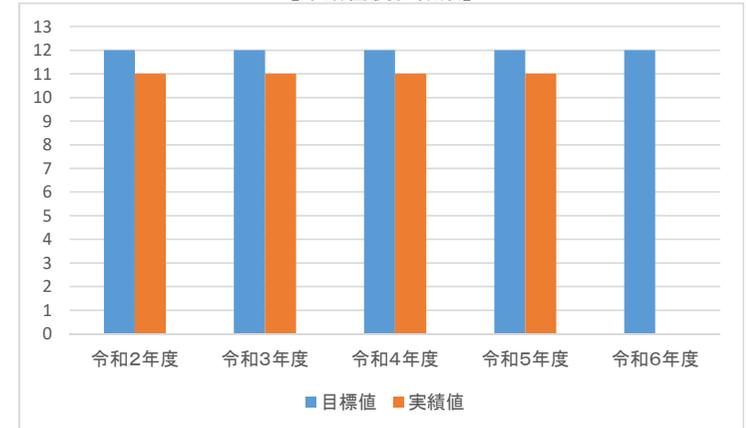
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【集落営農組織数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

10

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	作業受託面積				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
吾北産業課	★作業受託面積	15	ha	15.9	ha	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	15	15	15	15	15	ha
実績値	19	21	25	25		ha
目標に対する達成率	127%	140%	167%	167%		単年度目標
基準値に対する増減率	19%	32%	57%	57%		
評価	◎	◎	◎	◎		
PLAN: 取組内容	地域農業の維持及び活性化に向けて集落営農組織等を育成し、併せて農業生産の共同活動に取り組む集落営農組織の機械設備等への支援を行うことにより、目標達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	農事組合法人上東で実施されており、令和5年度の農作業受託面積は25haとなった。					
CHECK: 分析	水稲三作業における農作業受託面積は、昨年度と同面積を維持している。また、高齢化等の理由により耕作できなくなった農地を法人が借受け、水稲や柚子改植等を行っており、将来担い手へ継承できる農地の保全を行うことができた。					
ACTION: 今後の対応	地域計画における担い手として集落営農組織を位置づけ、農地の集積や農業機械の更新等、農協、県農業振興センターと連携し支援していく。					

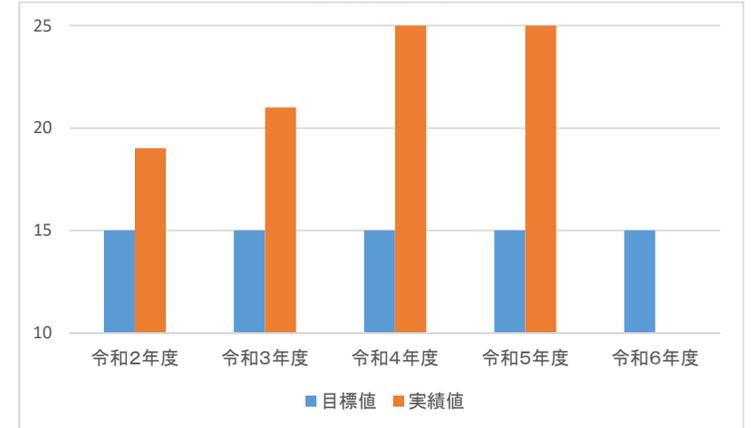
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【作業受託面積】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

11

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	農業次世代人材投資資金(経営開始型)夫婦型				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★農業次世代人材投資資金(経営開始型)夫婦型	3	組	3	組	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	1	1	2	2	3	組
実績値	0	0	0	0		組
目標に対する達成率	0%	0%	0%	0%		累計目標
基準値に対する増減率	-100%	-100%	-100%	-100%		
評価	△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援(新規就農者支援事業)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	夫婦による新規就農者0組					
CHECK: 分析	夫婦による新規就農希望者がおらず、制度の要件の対象とならなかった。					
ACTION: 今後の対応	関係機関と連携を密にし情報収集に努め、対象者には制度説明を行う。					

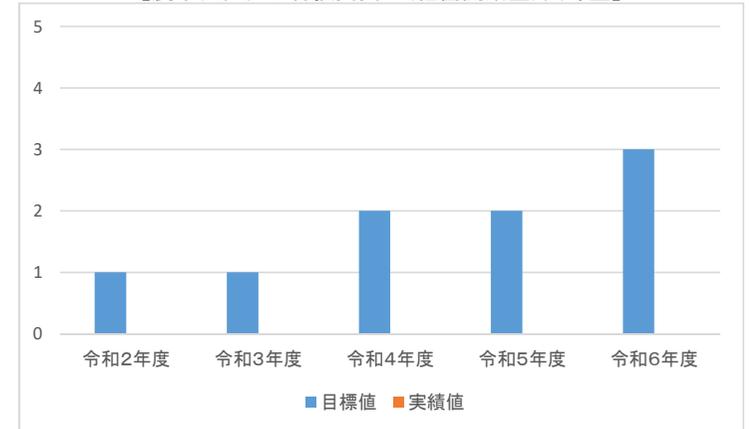
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【農業次世代人材投資資金(経営開始型)夫婦型】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

12

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1)	地産の強化を図る					
具体的な施策	ア	農業の振興					
	②	農業経営安定化の推進					
項目	★	農業次世代人材投資資金(経営開始型)単独型					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度		
	令和6年度				実績等		
産業経済課	★農業次世代人材投資資金(経営開始型)単独型	7	組	1	組		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値		1	2	5	6	7	組
実績値		0	1	2	3		組
目標に対する達成率		0%	50%	40%	50%		累計目標
基準値に対する増減率		-100%	0%	100%	200%		
評価		△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援(新規就農者支援事業)						
DO: 実績 (事業内容等を記載)	単独により新規就農者1名						
CHECK: 分析	県単事業(後継者育成支援事業)を活用していた研修生が就農し、制度の活用をした。						
ACTION: 今後の対応	関係機関と連携を密にし情報収集に努め就農と併せて制度活用に繋げていく。						

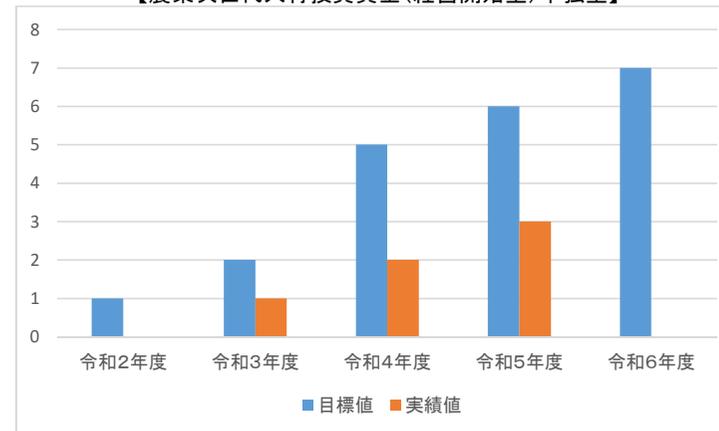
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【農業次世代人材投資資金(経営開始型)単独型】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

13

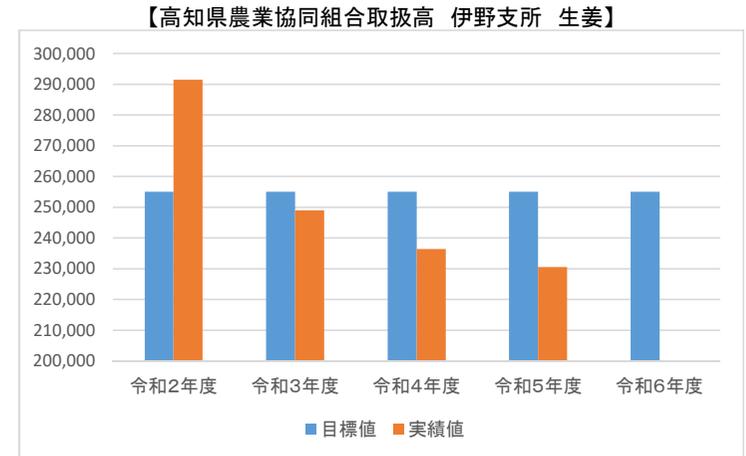
基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 生姜				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 生姜		255,000	千円	311,403	千円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	255,000	255,000	255,000	255,000	255,000	千円
実績値	291,450	248,903	236,361	230,451		千円
目標に対する達成率	114%	98%	93%	90%		単年度目標
基準値に対する増減率	-6%	-20%	-24%	-26%		
評価	◎	△	△	△		
PLAN: 取組内容	生姜については、部会での研修会を開催しよりよい栽培方法などを検討し、単価増を図り、目標達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	目標を下回った。					
CHECK: 分析	生姜価格の下落が取扱高の減少の要因として考えられる。					
ACTION: 今後の対応	小袋包装での販売など市場のニーズに則した販売などを行い、取扱高の増加に努める。					

評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

14

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 里芋・白芽芋				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 里芋・白芽芋		6,028	千円	6,023	千円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	6,025	6,025	6,025	6,025	6,028	千円
実績値	3,513	3,640	4,561	4,925		千円
目標に対する達成率	58%	60%	76%	82%		単年度目標
基準値に対する増減率	-42%	-40%	-24%	-18%		
評価	△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	里芋等については、部会での研修会を開催し新しい販売方法等を検討し、目標達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	目標値を下回った。					
CHECK: 分析	栽培面積に大きな変化はなかったものの、部員が増加したことにより取扱高は漸増となっている。					
ACTION: 今後の対応	今後も栽培講習会や新規栽培者の勧誘など、出荷量の向上に努め生産額の向上を図る。					

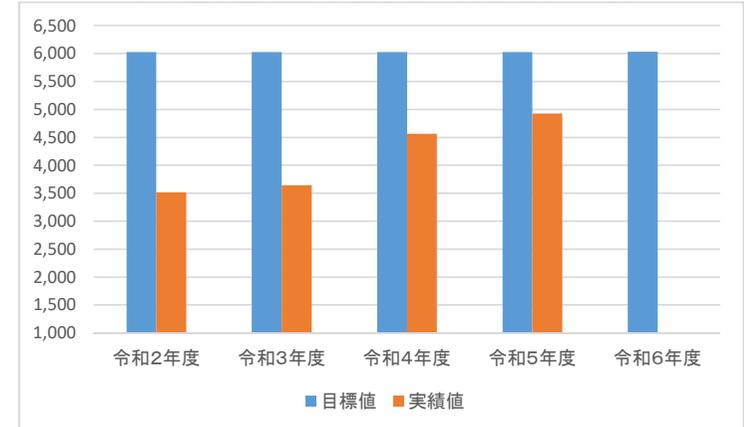
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【高知県農業協同組合取扱高 伊野支所 里芋・白芽芋】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

15

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 柚子				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
吾北産業課	★高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 柚子	35,000	千円	42,643	千円	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	千円
実績値	31,914	27,256	16,407	32,526		千円
目標に対する達成率	91%	78%	47%	93%		単年度目標
基準値に対する増減率	-25%	-36%	-62%	-24%		
評価	△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	柚子部会で研修会を開催し、玉出荷を励行することにより、単価増を図り、目標達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和3年度: 226t、27,256千円 令和4年度: 127t、16,407千円 令和5年度: 249t、32,526千円					
CHECK: 分析	隔年周期の表年にあたり前年よりも収量が増加した。また、玉出荷先の受入れ需要も多かったことから目標値に近づいた。一方高齢化や担い手不足により耕作面積が縮小する傾向にあり、目標達成のためには栽培面積の維持、増加が必要である。					
ACTION: 今後の対応	県農業振興センターや農協との連携による、トゲの少ない優良系統苗の普及に取り組んできたことにより、R5年度から収穫できる株も出始めている。優良品種は品質の安定や作業負担の軽減につながるため、新規就農や事業継続のハードルも従来品種と比べて比較的低い。また、R5年度末に導入した非接触型AI画像解析選果機により、出荷調整作業の労力軽減が期待できる点も併せてPRを行い、後継者の確保と栽培面積拡大に取り組み、玉出荷の増を図る。					

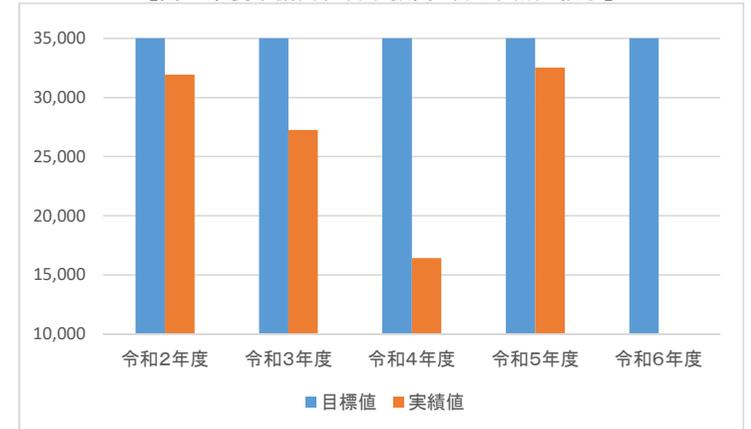
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 柚子】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

16

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 わさび				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
吾北産業課	★高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 わさび	4,500	千円	3,909	千円	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	千円
実績値	3,610	3,674	1,895	2,261		千円
目標に対する達成率	80%	82%	42%	50%		単年度目標
基準値に対する増減率	-8%	-6%	-52%	-42%		
評価	△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	新規栽培者の開拓を提案型担い手確保対策とも絡めて行い、目標達成を目指す。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和3年度: 13,283kg、3,674千円 令和4年度: 6,893kg、1,895千円 令和5年度: 7,861kg、2,261千円					
CHECK: 分析	農業公社での育苗に必要な種の発芽率が悪く、需要に見合う苗の確保ができなかった。追加で苗を確保したが、栽培期間が短くなったため、生産量が大幅に減少した。また、耕作に必要な栽培環境や設備への初期投資が負担となる課題はあるが、目標達成のためには新規栽培者の確保・栽培面積の拡大を図ることが必要である。					
ACTION: 今後の対応	優良な品種の種の選定、適正な育苗はもちろんだが、温度管理や日光の管理など環境に左右される部分も大きい。適正な栽培管理の普及などにも取り組んでいく必要がある。新規栽培者の確保については、他の園芸作物からの転換なども視野に入れて可能性を探る。					

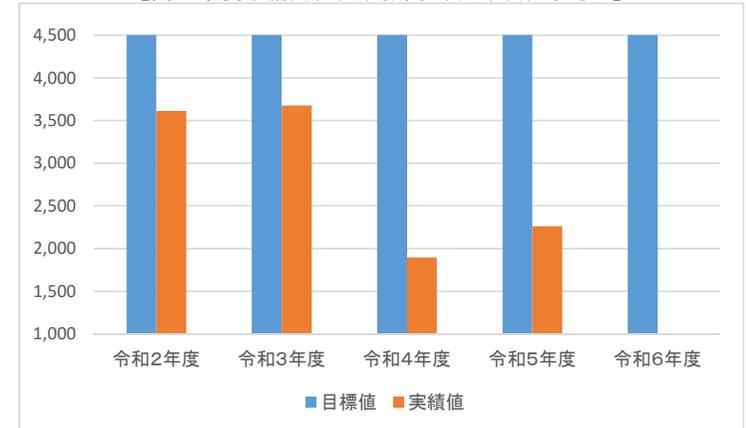
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【高知県農業協同組合取扱高 吾北支所 わさび】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番 17

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	本川きじの販売額				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
本川産業建設課	★本川きじの販売額	32,927	千円	14,859	千円	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	32,927	32,927	32,927	32,927	32,927	千円
実績値	14,210	12,969	14,936	18,284		千円
目標に対する達成率	43%	39%	45%	56%		単年度目標
基準値に対する増減率	-4%	-13%	1%	23%		
評価		△	△	△		
PLAN:取組内容	いの町本川地区の特産品である「本川きじ」の販路の拡大と顧客ニーズに対応した商品の開発に取り組み、中山間地域の基幹産業として定着させる。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	<p>〈営業力強化による販路拡大〉 本川手箱きじを地区の特産品として定着させ、認知度を向上させるため、県内イベントへの出店や県内他産地と連携しPRを行った。他産地との連携が、イベントの開催や在庫が少ない場合の取引先の紹介などにつながった。</p> <p>〈安定した生産体制の確保〉 年度間で5回の定例会を開催し、生産から販売までの関係者が現状や取組の方向性を検討、共有した また、家畜衛生保健所による検卵及び受精率等の向上に関する指導を受け確実に実施し、受精率や羽化率など生産効率の向上を図った。</p>					
CHECK:分析	<p>[評価] 新型コロナウイルス感染症の拡大による外食や旅行需要の低迷等により厳しい状況が続いたが、商談への積極的な参加や、イベントへの出店等地道な取組を続け売上は上昇に転じてきている。</p> <p>[課題] ・県外を中心とした業務需要向けの販路開拓が必要である。 ・価格から食材としてのきじの認知度は低く、本川地区の特産品としても定着していない。 ・きじは、飲食店のイベント等で使用されるケースが多く、取引継続が課題である。</p>					
ACTION:今後の対応	<p>〈営業力の強化による販路拡大〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会の開催 ・県商談会への参加 ・首都圏で開催される展示会出展などによる新規取引先の開拓 ・きじ認知度向上のためのイベント出店及び情報発信の強化 ・既存取引先への営業強化 					

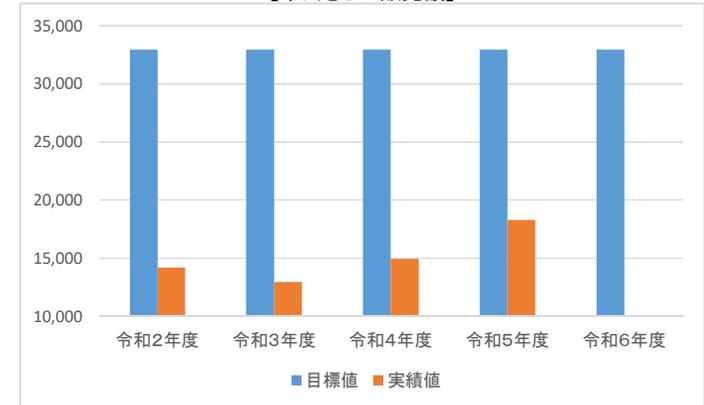
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未滿
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未滿
×	進捗なしor事業終了

【本川きじの販売額】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	大阪のアンテナショップへの出店も検討願いたい。
総合評価	△ 目標値未滿

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

18

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1)	地産の強化を図る					
具体的な施策	ア	農業の振興					
	②	農業経営安定化の推進					
項目	★	森の小さなお菓子屋さんの売上					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度		
	令和6年度				実績等		
吾北産業課	★森の小さなお菓子屋さんの売上	110	%	100	%		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値		110	110	110	110	110	%
実績値		87	80	92	100		%
目標に対する達成率		79%	73%	84%	91%		単年度目標
基準値に対する増減率		-13%	-20%	-8%	0%		
評価		△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	新商品の開発や既存商品の見直し、SNSによる情報発信により、目標達成を目指す。						
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和元年度売上: 11,348千円 令和5年度売上: 11,322千円						
CHECK: 分析	町内の農産物を使用した新商品の開発及び販売、SNSを利用し情報の周知を行った。 新型コロナウイルス感染症による影響がほぼ解消され、売上額は令和元年度と同額程度まで回復した。						
ACTION: 今後の対応	新商品の開発やSNSによる情報発信を継続し、さらなる売上増を目指す。						

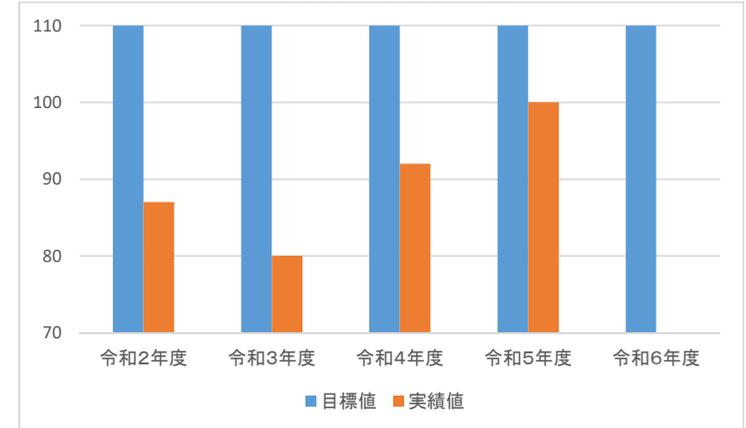
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【森の小さなお菓子屋さんの売上】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

19

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	吾北物産出荷協議会の売上				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
吾北産業課	★吾北物産出荷協議会の売上	105	%	100	%	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	105	105	105	105	105	%
実績値	90	81	81	78		%
目標に対する達成率	-14%	77%	77%	74%		単年度目標
基準値に対する増減率	-10%	-19%	-19%	-22%		
評価	△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	県農業振興センター、JA高知県吾北支所等関係機関の指導のもと、道の駅633美の里の売上が落ち込む冬季に販売(栽培)可能な有望品目を検討する。 また、吾北地区で就農を希望する就農前後の青年新規就農者に対しての補助、JA・県・町等の関係機関の連携によるサポートにより、地区の担い手を確保する。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和元年度売上: 66,674千円 令和5年度売上: 52,667千円					
CHECK: 分析	高齢化による出荷者の出荷意欲の減衰や、出荷者数が減少してきている。 台風等による影響で販売額は伸びず、実績値は78%となった。					
ACTION: 今後の対応	POSシステムを活用するなど、出荷者に対して分かりやすい情報提供を行う。また、吾北地区で就農を希望する就農前後の青年新規就農者に対しての補助、JA・県・町等の関係機関の連携によるサポートを引き続き行い、地区の担い手を確保するなど、新しい出荷者の確保を目指す。					

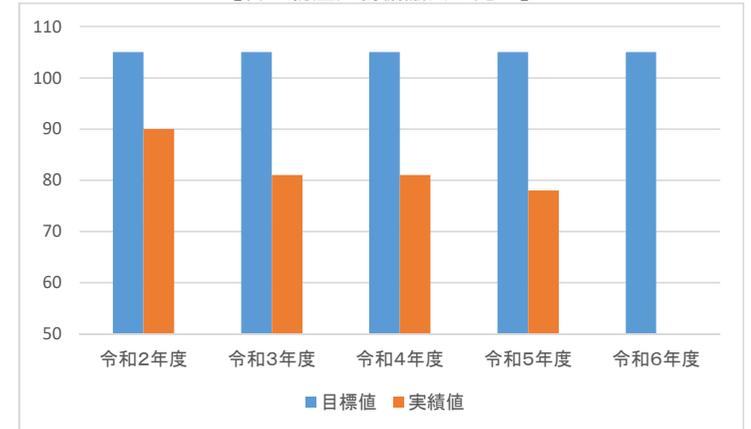
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【吾北物産出荷協議会の売上】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

20

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	有害鳥獣捕獲数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★有害鳥獣捕獲数	2,400	頭(羽)	2,156	頭(羽)	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	頭(羽)
実績値	1,900	1,590	2,125	1,740		頭(羽)
目標に対する達成率	79%	66%	89%	73%		単年度目標
基準値に対する増減率	-12%	-26%	-1%	-19%		
評価	△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	野生鳥獣による農林作物の被害対策として、対象有害鳥獣の捕獲に交付金・報償金を交付する。(鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業・有害鳥獣捕獲に関する報償金)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	イノシシ512頭、ニホンザル148頭、カラス417羽、シカ354頭、ハクビシン152頭、アナグマ45頭を捕獲し、前年比率約81%となり、目標値は下回った。					
CHECK: 分析	目標値を下回った要因としては捕獲者の高齢化や人材の減少、また豚熱の流行があげられる。					
ACTION: 今後の対応	令和5年度は猟友会長や地区担当者と連絡をとり、数年ぶりに面談による鳥獣被害対策協議会を行い周知活動を行った。 今後も継続して捕獲する人材の確保、周知に努める。					

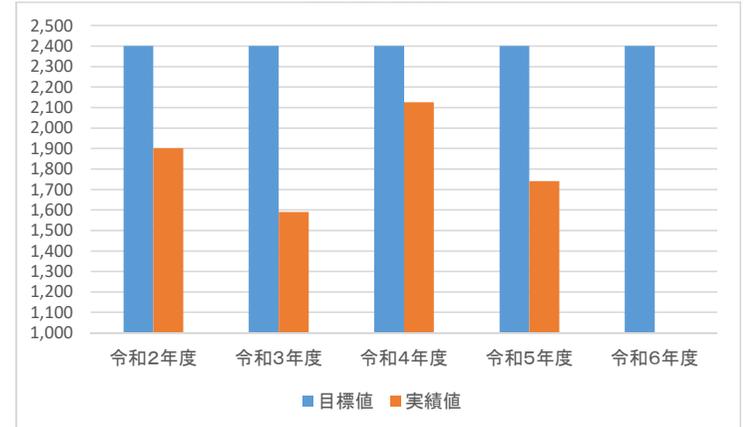
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【有害鳥獣捕獲数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

21

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	電気柵設置数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★電気柵設置数	40	件	46	件	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	40	40	40	40	40	件
実績値	59	40	44	37		件
目標に対する達成率	148%	100%	110%	93%		単年度目標
基準値に対する増減率	28%	-13%	-4%	-20%		
評価	◎	○	◎	△		
PLAN: 取組内容	農業者等、または狩猟者等が被害防止のためのトタン・電気柵等及び有害鳥獣の捕獲に必要な檻の購入費を補助(鳥獣被害緊急対策事業、鳥獣被害対策支援総合補助金)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	前年度比84%となり、目標も未達成だった。					
CHECK: 分析	口頭・広報による周知が不十分だったと思われる。					
ACTION: 今後の対応	高知県農業協同組合に相談をし、いの町広報以外からも農業従事者へ電気柵周知をするようにし電気柵補助金の普及に努める。					

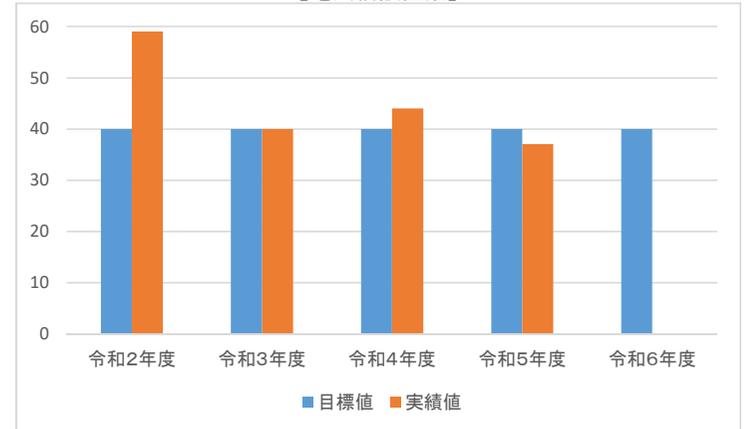
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【電気柵設置数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

22

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	狩猟免許取得補助数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課・本川産業建設課	★狩猟免許取得補助数	10	件	8	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	10	10	10	10	10	件
実績値	10	10	14	8		件
目標に対する達成率	100%	100%	140%	80%		単年度目標
基準値に対する増減率	25%	25%	75%	0%		
評価	○	○	◎	△		
PLAN: 取組内容	農林水産物被害対策として、鳥獣を捕獲するために必要な狩猟免許の取得経費を補助(狩猟免許取得補助金)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	伊野地区7件、吾北地区1件、本川地区0件、合計8件で目標値を下回った。					
CHECK: 分析	ポスター掲示や広報による周知だけでは不十分で、掲載の時期も適正ではなかったため目標値を未達成したと思われる。					
ACTION: 今後の対応	昨年度までは試験日1ヶ月前の広報に掲載していたが、試験日2ヶ月前の広報に掲載を行い、狩猟者の方が来庁される時に知人で狩猟にご興味がある方がいないか確認をし事業周知に努める。					

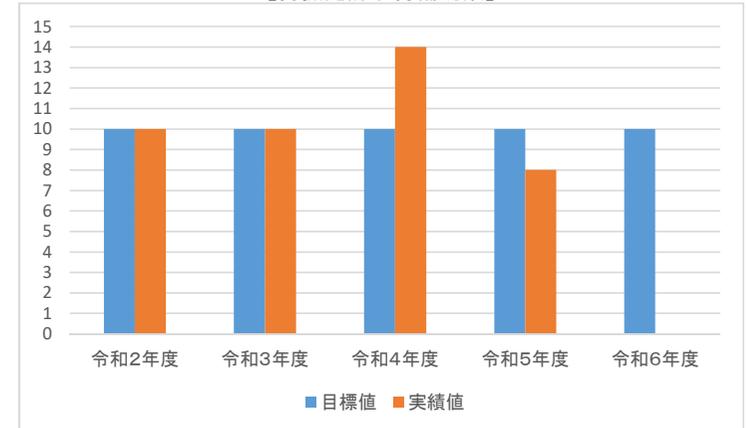
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【狩猟免許取得補助数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

23-36

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	担い手等の確保・育成				
項目	★	新規就農者数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★新規就農者数	20	人	2	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	4	8	12	16	20	人
実績値	1	3	4	6		人
目標に対する達成率	25%	38%	33%	38%		累計目標
基準値に対する増減率	-50%	50%	100%	200%		
評価	△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援(新規就農者支援事業)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	伊野地区で2名が就農した。					
CHECK: 分析	国庫補助及び県補助を活用して研修を行っていた研修生が独立就農した。					
ACTION: 今後の対応	他の就農希望者がいないか情報収集に努め、希望者には支援制度を活用できるようサポートしていく。					

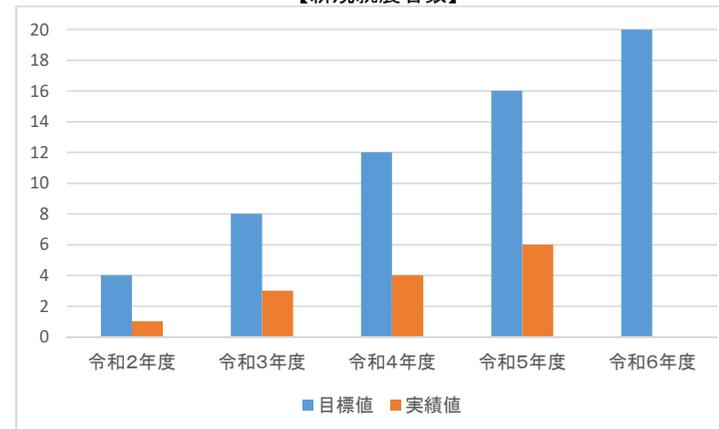
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【新規就農者数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

24-37

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	担い手等の確保・育成				
項目	★	新規就農研修生				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★新規就農研修生	6	人	2	人	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	2	2	4	4	6	人
実績値	1	2	3	3		人
目標に対する達成率	50%	100%	75%	75%		累計目標
基準値に対する増減率	-50%	0%	50%	50%		
評価	△	○	△	△		
PLAN: 取組内容	新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援 (（公財）いの町農業公社研修事業等) 研修手当、資金の交付（農業次世代人材投資事業等）					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	(公財)いの町農業公社と、JAコスモスまるい生姜部会において、担い手確保対策として取り組んだが、当該年度からの研修とはならなかった。					
CHECK: 分析	農業公社のホームページや、高知県農業会議が発行しているチラシなどで就農希望者を募ったが当該年度からの研修とはならなかった。					
ACTION: 今後の対応	補助制度等の周知により就農のための研修相談が2名いたため、研修開始できるようサポートしていく。 また、関係機関と連携を密にし情報収集に努めるとともに、さらなる周知を行い研修生の確保に努める。					

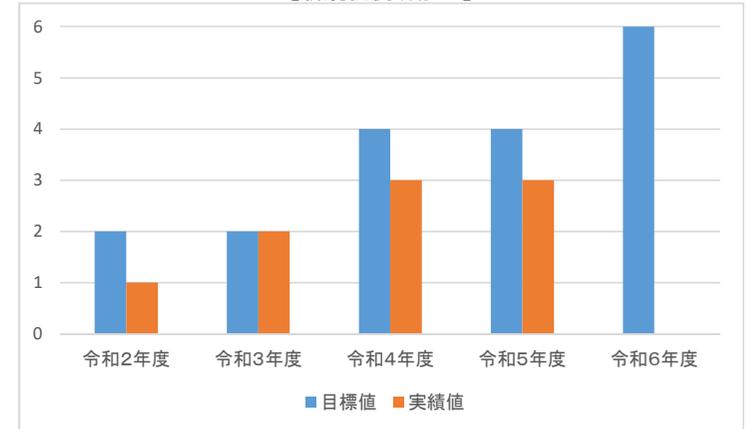
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【新規就農研修生】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

25

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	イ	林業の振興				
	①	林業の成長産業化				
項目	★	原木生産量				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成30年次	
	令和6年度				実績等	
森林政策課	★原木生産量	50,000	m ³ 以上	35,346	m ³ 以上	
	令和2年次	令和3年次	令和4年次	令和5年次	令和6年次	単位
目標値	-	暫定	暫定	暫定	50,000	m ³ 以上
実績値	24,876	31,861	33,899	18,381		m ³
目標に対する達成率	50%	64%	68%	37%		単年度目標
基準値に対する増減率	-30%	-10%	-4%	-48%		
評価	評価なし	評価なし	評価なし	評価なし		
PLAN:取組内容	町産材の安定供給体制の構築(森林(もり)づくり交付金事業、「仁淀川」山の手入れで元気モリモリ事業、「吉野川」水源の森整備事業等)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	「仁淀川」山の手入れで元気モリモリ事業:搬出間伐A=32.38ha(V=2,132m ³)、森林作業道開設L=1,872m 「吉野川」水源の森整備事業:搬出間伐A=0ha(V=0m ³)、森林作業道開設L=402m 森林整備緊急対策支援事業:搬出間伐A=0ha(V=0m ³)、森林作業道開設L=0m 森林資源循環利用促進事業:皆伐A=0ha(V=0m ³) 森林(もり)づくり交付金事業:森林作業道開設L=0m					
CHECK:分析	林業事業体における全体の原木生産量は前年度並みであるが、生産量の半数以上(約57%)が、いの町外の施業地において生産されたことによるものと考えられる。					
ACTION:今後の対応	林業事業体の原木生産基盤の充実に向けた支援を継続的に実施する。					

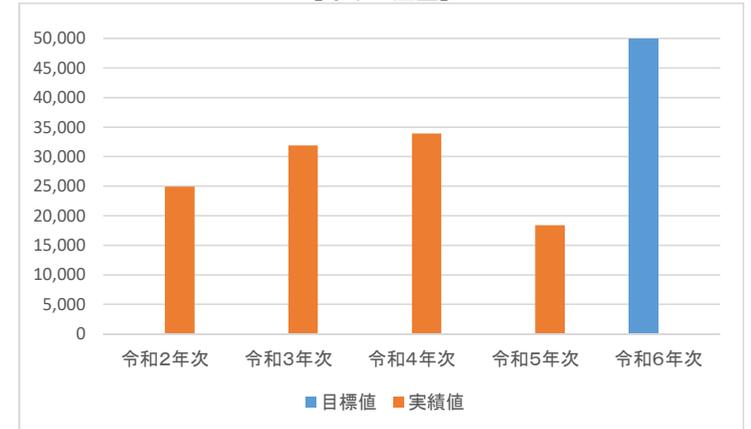
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【原木生産量】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	評価なし

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

26

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	イ	林業の振興				
	①	林業の成長産業化				
項目	★	林道整備(開設)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和2年度	
	令和6年度				実績等	
土木課・吾北建設課・本川産業建設課	★林道整備(開設)	4,000	m	1,171	m	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		1,400	1,900	2,600	3,200	4,000
実績値		1,171	2,109	2,987	3,843	
目標に対する達成率		84%	111%	115%	120%	
基準値に対する増減率		0%	80%	155%	228%	
評価		△	◎	◎	◎	累計目標
PLAN:取組内容	造林、保育、間伐等の適切な森林管理の推進や森林整備の低コスト化を図るとともに、木材の安定供給や更なる原木増産を実現するための路網整備					
DO:実績 (事業内容等を記載)	令和4年度 ・森林環境保全整備事業(林道越裏門大森線開設工事) L=494m ・森林基幹道開設事業(林道土居柳野線【2工区】開設工事) L=154m ・森林基幹道開設事業(林道土居柳野線【4工区】開設工事) L=230m 令和5年度 ・森林基幹道開設事業(林道土居柳野線【3工区】開設工事) L=170m ・森林基幹道開設事業(林道土居柳野線【4工区】開設工事) L=151m ・森林基幹道開設事業(林道越裏門大森線【1工区】開設工事) L=329m ・森林基幹道開設事業(林道越裏門大森線【2工区】開設工事) L=106m ・森林環境保全整備事業(林業専用道葛原山線開設工事) L=100m					
CHECK:分析	着実な林内路網整備を実現し、目標としている開設延長は達成できた。					
ACTION:今後の対応	適正な森林管理や木材の安定供給など森林資源を有効に活用するため、新たな林内路網整備を計画するなど、更なる林業振興の発展に向けて路網整備の促進を図る。					

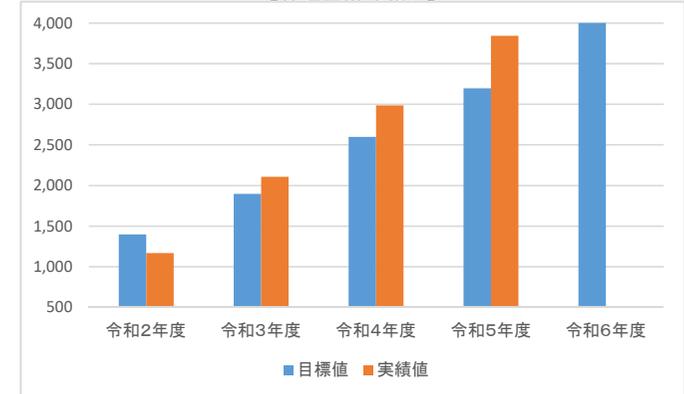
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【林道整備(開設)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

27

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ウ	ものづくりや地元産業の振興				
	①	企業立地・新規創業の推進・支援				
項目	★	新規立地件数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★新規立地件数	1	件	1	件	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	-	-	-	-	1	件
実績値	0	0	0	0		件
目標に対する達成率	-	-	-	-		
基準値に対する増減率	-100%	-100%	-100%	-100%	-100%	累計目標
評価	評価なし	評価なし	評価なし	評価なし		
PLAN: 取組内容	企業立地の取組					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和5年度は事務所・工場等の新設は無かった。 現在稼働していない工場用地について、県内製造業事業所から工場建設の相談を受け、関係する部署・団体等と情報共有して対応していたが、要件が整わず建設には至らなかった。 廃業となった紙会社工場跡について持ち主から相談があり、高知市内の事業者の移転先や農作業の作業場所等の問い合わせを繋いだ。 高知県によるIT系事務所の誘致のスキームや受け入れについての研修会の実施。					
CHECK: 分析	企業立地に向けた、具体的な工場建設や物件活用の相談があった。 必要な要件等の確認を行い、問題点をクリアして創業に向けて進んでいくため、関係部署との綿密な情報共有が重要である。					
ACTION: 今後の対応	県や商工会と連携しながら、規制緩和により企業立地の働きかけを推進する。 職種や事業規模により課題や必要な対応が異なるため、個々に応じた創業支援を実施していく。					

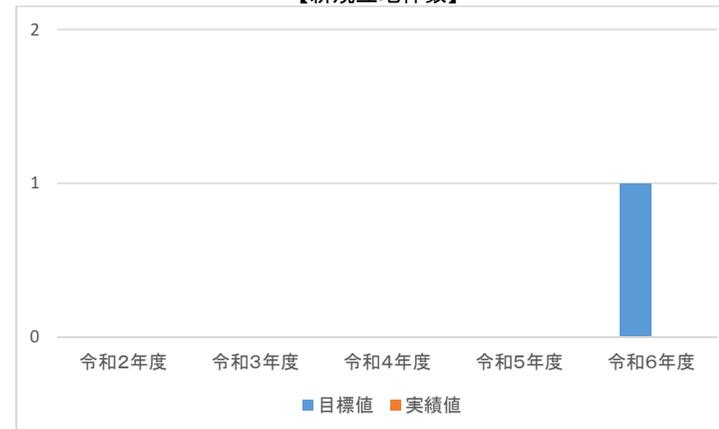
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【新規立地件数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	評価なし

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

28

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ウ	ものづくりや地元産業の振興				
	①	企業立地・新規創業の推進・支援				
項目	★	中心市街地 新規開業事業所数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★中心市街地 新規開業事業所数	7	事業所	7	事業所	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	2	2	1	1	1	事業所
実績値	2	8	4	2		事業所
目標に対する達成率	100%	400%	400%	200%		
基準値に対する増減率	-71%	14%	-43%	-71%		累計目標
評価	○	◎	◎	◎		
PLAN: 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業立地の取組（いの町産業振興奨励金）等 ■ いの町空き店舗対策家賃補助助成事業（創業支援事業） ■ 第2期いの町中心市街地活性化計画を策定（R4.12月） 					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	<p>いの町産業振興奨励金(高知食糧(株)たまごセンター)を実施した。</p> <p>いの町空き店舗対策家賃補助助成事業 5件:MATE(美容室)、ラグーン(エステ)、駅前食堂楽家(飲食)、廣福堂(雑貨)、カラアゲ推し鶏(飲食)を実施した。いの町ホームページに創業支援について掲載した。</p> <p>新規開業 2件:oak bakery(パン屋)、ライアンズキッチン(飲食)</p>					
CHECK: 分析	<p>近年は安定した新規出店がある。同エリアの店舗数の推移は、H27・77店舗、R1・73店舗、R4・73店舗となっており、廃業する店舗もある中、商店街としての役割を維持している。</p> <p>毎年一定の新規出店の相談があるが、利用可能な空き店舗が少なく、出店機会を逃している。</p> <p>中心市街地で開催されるイベント等には、同エリアの事業者への積極的な参加を呼びかけ、店舗の認知度・売上げ向上を促した。</p>					
ACTION: 今後の対応	<p>使える空き店舗の継続した掘り起しが必要。れんけいこうちや商工会等と連携して情報収集や情報発信力を向上させる。</p> <p>新規開業した事業者の情報等を知ってもらう機会を作る。</p>					

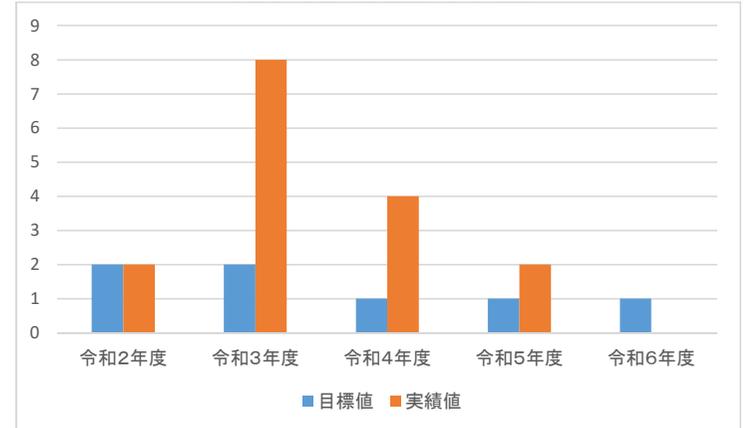
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【中心市街地 新規開業事業所数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

29

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ウ	ものづくりや地元産業の振興				
	②	紙産業の振興				
項目	★	伊野製紙工業会会員の売上				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★伊野製紙工業会会員の売上	23,000	百万円	23,319	百万円	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000	百万円
実績値	23,108	24,290	22,000	23,000		百万円
目標に対する達成率	100%	106%	96%	100%		単年度目標
基準値に対する増減率	-1%	4%	-6%	-1%		
評価	◎	◎	△	○		
PLAN: 取組内容	紙産業の振興 伊野製紙工業会会員の売上					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和5年度 ・16社 ・うち、町内15社について 年間売上総額 230億円(推計値)					
CHECK: 分析	燃料価格や物価高騰による厳しい経営状況の中、支援制度等を活用しながら、コストの削減、マーケティングによる業態の変化、商品の付加価値の増加等によって収益の確保に努めている。					
ACTION: 今後の対応	商品の開発研究、生産技術の向上、生産設備の導入の促進等を行い、安定した生産ラインの確保・販路の拡大を図ることで売上増を目指す。					

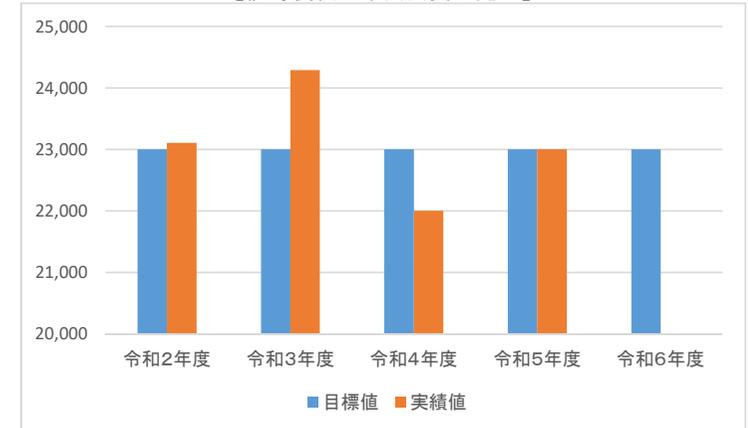
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【伊野製紙工業会会員の売上】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

30

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1)	地産の強化を図る					
具体的な施策	ウ	ものづくりや地元産業の振興					
	②	紙産業の振興					
項目	★	高知県手すき和紙協同組合・紙の博物館の売上					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度		
	令和6年度				実績等		
産業経済課	★高知県手すき和紙協同組合・紙の博物館の売上	1,700	万円	906	万円		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値		1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	万円
実績値		747	829	1,118	1,265		万円
目標に対する達成率		44%	49%	66%	74%		単年度目標
基準値に対する増減率		-18%	-8%	23%	40%		
評価		△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	紙産業の振興 紙の博物館(販売コーナー)の売上						
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和5年度 紙の博物館販売コーナー売上12,650,655円(前年比1,468,743円増)						
CHECK: 分析	<p>入場者は回復傾向にある。(入場者前年比113.3%、R元年比105.8%)新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に5類移行したこと、NHK朝の連続テレビ小説「らんまん」により高知県が注目されたこと、令和4年10月に海外渡航制限が緩和されたことなどが要因と考えられる。</p> <p>開催する展示会の内容により入場者に影響がある。</p>						
ACTION: 今後の対応	<p>令和2年4月より、紙の博物館販売コーナー運営が手すき和紙協同組合への委託から町の直営となった。ディスプレイやポップ表示の変更など、継続して魅力的な売り場づくりに努める。</p> <p>販売コーナーのみの利用は無料で入場できることをPRし、販売コーナー利用増に努め、売り上げ増を目指す。</p> <p>また、令和6年8月頃よりオンライン販売システムを導入する予定で、ECサイトの魅力向上を行うことで販売促進を行う。</p>						

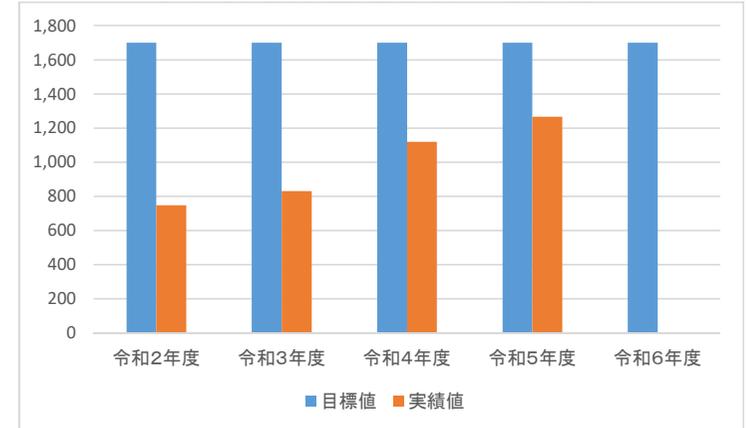
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【高知県手すき和紙協同組合・紙の博物館の売上】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ウ	ものづくりや地元産業の振興				
	②	紙産業の振興				
項目	★	手すき職人数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★手すき職人数	7	人	6	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	7	7	7	7	7	人
実績値	6	6	6	6		人
目標に対する達成率	86%	86%	86%	86%		単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%	0%		
評価	△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	紙産業の振興 手すき職人数					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	○高知県手すき和紙協同組合員 6名(田村晴彦、尾崎伸安、田村亮二、田村寛、浜田兄弟和紙製作所、友草喜美枝) ○組合員以外の手すき職人 2名(尾崎清貴・北岡辰之)					
CHECK: 分析	令和2年度末で長期研修を終了した研修生が1名おり、手すき職人となるべく、親元の工房や土佐和紙工芸村和紙体験実習館で経験を積みながら土佐和紙振興に関わっている。 ・東京都匠の技の祭典2023、KAMI祭等への参加 後継者育成補助金について、研修生と講師が1対1の研修スタイルから、複数講師から研修を受けることができる体制に改正。短期研修を1名受け入れ、研修終了後は町内事業所や和紙体験実習館で活動を続け和紙に携わっている。					
ACTION: 今後の対応	高齢化等により町内の手すき和紙協同組合員は減少している。 令和6年度においては高知県・土佐市と共同で、土佐和紙の認知を広げるため新たな層へのPRの実施と、和紙づくりに感心のある層との交流ルート及び関係性を構築する事業を行い、後継者育成につなげていく。					

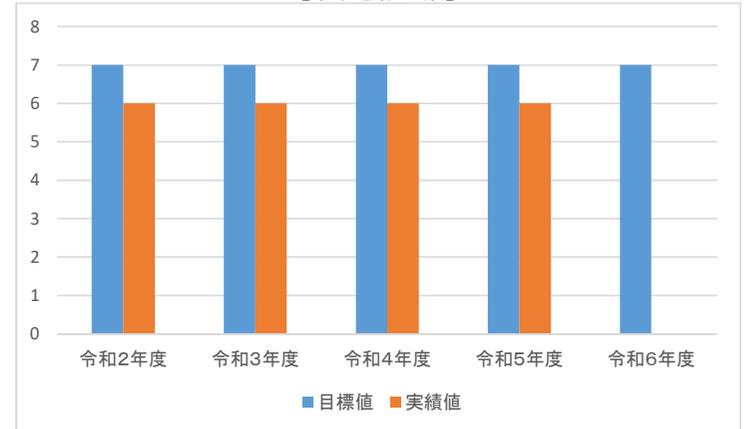
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【手すき職人数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

32

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	エ	地産地消の徹底				
項目	★	直販店の販売額				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課・本川産業建設課	★直販店の販売額	27,270	万円	25,110	万円	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		27,270	27,270	27,270	27,270	27,270
実績値		25,400	25,687	26,453	39,078	
目標に対する達成率		93%	94%	97%	143%	
基準値に対する増減率		1%	2%	5%	56%	
評価		△	△	△	◎	
PLAN:取組内容	新規部員の獲得や、直販部員によるイベントの実施、他主催のイベントへ参加し集客および知名度向上に努めた。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	紙博直販所 907 JAコスモス伊野直販所 2,087 レストパークいの 23,543 工芸村特産センター 1,302 水辺の駅 あいの里 仁淀川 直販所 1,310 ふれあいの里柳野 316 道の駅633美の里物産館 5,267 いの町本川直販所 472 伊野町農産物直販所 3,874 9カ所合計 39,078					
CHECK:分析	レストパークいのの販売額が大きくなり、目標値を達成できた。					
ACTION:今後の対応	今後も継続して目標達成が出来るように各直販所へ働きかけ、町内での生産活動を高める。					

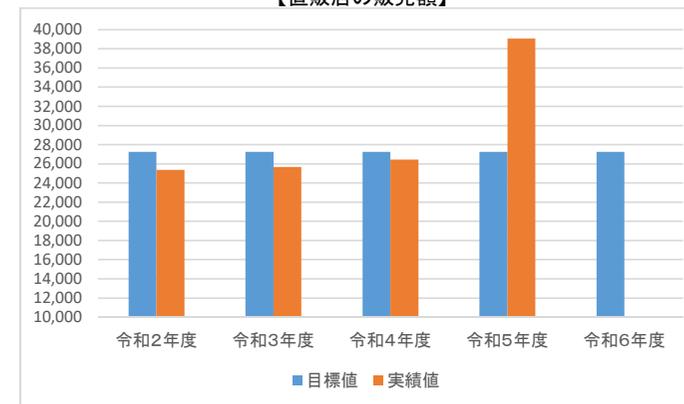
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【直販店の販売額】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	レストパークいのの販売額があがったことはいいことだが、他の直販所の中で令和4年度に比べ、販売額が下がっているところがあるので、しっかり対応しないといけない。
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

33

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	エ	地産地消の徹底				
項目	★	学校給食の食材における地場産物の活用割合(令和3年度から金額ベースに変更)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★学校給食の食材における地場産物の活用割合(令和3年度から金額ベースに変更)		65	%	72.8	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	65	65	65	65	65	%
実績値	62	58	53	50		%
目標に対する達成率	96%	89%	81%	77%		単年度目標
基準値に対する増減率	-14%	-20%	-27%	-31%		
評価	△	△	△	△		
PLAN:取組内容	学校、認定こども園、保育園の給食食材における県内産品の活用割合(令和2年度は重量ベース、令和3年度から金額ベースに変更になった。)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	上記実績のとおり。(保育園・認定こども園 55.2%、学校 41.3%)					
CHECK:分析	令和4年度に比べて保育・こども園の割合は増加している。(令和4年度52.2%⇒令和5年度55.2%)一方、学校給食は減少している。(令和4年度52.6%⇒令和5年度41.3%) 保育・こども園の割合増加は、定期的にいの町産の野菜を中心とした利用が定着してきていることが要因と考えられる。 学校給食は、牛乳の納入業者が変更になり、県外産となったため割合が低下した。(高知県の入札で業者が決定する。) ※地域食材の使用状況調査ではあるが、いの町産ではなく、高知県産の調査となる。					
ACTION:今後の対応	時期によって使用できる県内産・いの町産の食材を地元の納入業者等に問い合わせ、献立を組み立てたり、納品業者にも積極的に地場産物を納品してもらうよう働きかける。					

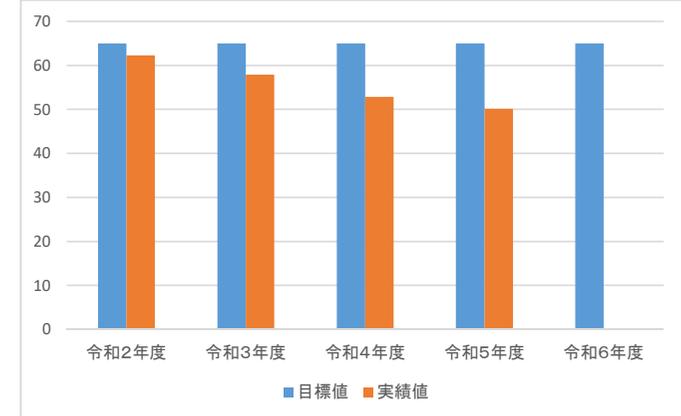
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【学校給食の食材における地場産物の活用割合(令和3年度から金額ベースに変更)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

34

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(2)	外商の強化を図る				
具体的な施策	ア	観光振興				
	①	魅力ある新メニューの開発強化				
項目	★	体験型プログラム参加人数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★体験型プログラム参加人数	30,440	人	28,428	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	26,599	29,546	29,841	30,139	30,440	人
実績値	14,489	18,612	22,629	25,144		人
目標に対する達成率	54%	63%	76%	83%		単年度目標
基準値に対する増減率	-49%	-35%	-20%	-12%		
評価	△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ■「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進 仁淀ブルーを活用したDMO観光地域づくりの連携事業 ■石鎚山系の広域観光推進 (株)ソラヤマいしづちとの連携事業 ■れんけいこうち広域観光推進事業 					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	<ul style="list-style-type: none"> ○入込客数報告人数: 25,012人 ○仁淀ブルー体験博での町内プログラム参加者: 132人 ○受入環境整備事業: トイレの洋式化・自動水栓化、キャッシュレスの導入 ○案内機能強化事業: デジタルスタンプラリーシステムのバージョンアップ ○広域観光ルートのプロモーション動画制作(れんけいこうち) 					
CHECK: 分析	高知県観光トク割キャンペーンや全国旅行支援・連続テレビ小説「らんまん」の影響もあり、全体的に上向き加減となった。仁淀ブルー体験博では、町内外からの参加者も多く、新規顧客の獲得や町内全域への誘客効果が見られた。					
ACTION: 今後の対応	大型客船の入港などにより、海外観光客の増加が著しい。今後より多くの外国人観光客を受け入れるには、電子決済対応や案内表示の多言語化等受け入れ環境整備が必要である。引き続き関係機関と連携・協力しながら地域資源を活用した観光商品の造成、体験メニューの磨き上げを行い集客促進を図り滞在型観光プラン整備計画を推進していく。					

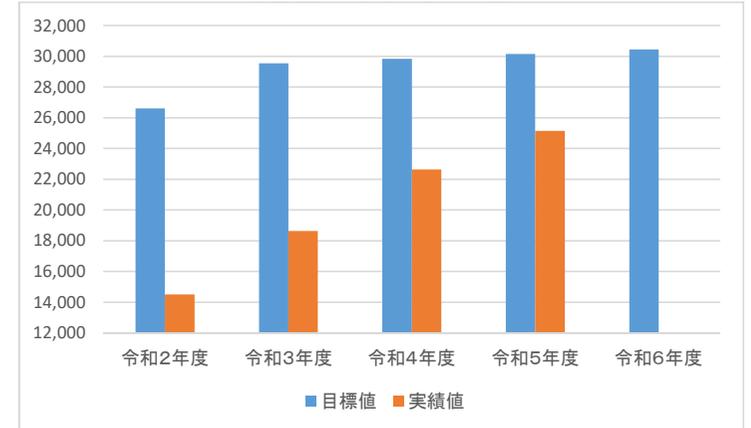
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【体験型プログラム参加人数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

35

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(2)	外商の強化を図る				
具体的な施策	ア	観光振興				
	①	魅力ある新メニューの開発強化				
項目	★	体験料収入				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★体験料収入	59,903	千円	56,687	千円	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	50,799	58,141	58,723	59,310	59,903	千円
実績値	32,065	38,621	43,996	42,640		千円
目標に対する達成率	63%	66%	75%	72%		単年度目標
基準値に対する増減率	-43%	-32%	-22%	-25%		
評価	△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ■「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進 仁淀ブルーを活用したDMO観光地域づくりの連携事業 ■石鎚山系の広域観光推進 (株)ソラヤマいしづちとの連携事業 ■れんけいこうち広域観光推進事業 					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	<ul style="list-style-type: none"> ○入込客数報告収入: 41,831,096円 ○仁淀ブルー体験博体験プログラム収入: 808,500円 					
CHECK: 分析	高知県観光トク割キャンペーンや全国旅行支援・連続テレビ小説「らんまん」の影響もあり、全体的に上向き加減となった。仁淀ブルー体験博では、町内外からの参加者も多く、新規顧客の獲得や町内全域への誘客効果が見られた。観光資源の高付加価値化を目指してプログラムの造成を行い、客単価としては対前年度比で25%の増となった。					
ACTION: 今後の対応	大型客船の入港などにより、海外観光客の増加が著しい。今後より多くの外国人観光客を受け入れるには、電子決済対応や案内表示の多言語化等受け入れ環境整備が必要である。「仁淀ブルー体験博」の取り組みを通して体験メニューの磨き上げや地域資源の活用を積極的に図るなど、体験メニューの付加価値を高め客単価をアップさせることにより引き続き体験料収入増加の取組を進めていく。また、(株)ソラヤマいしづちとの連携事業により、観光客と体験事業とのマッチングに取り組む。					

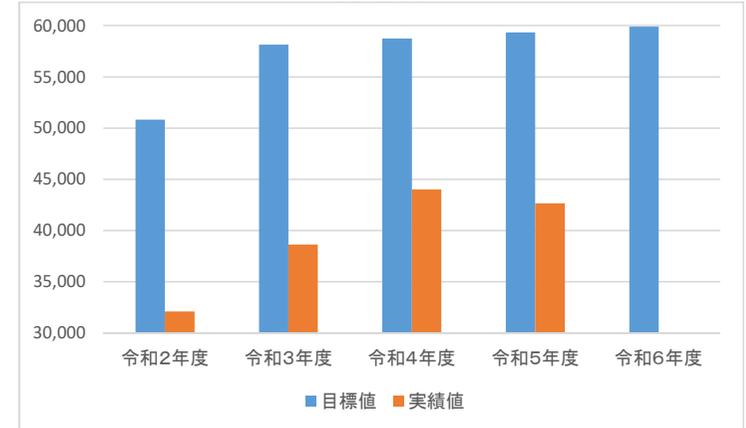
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【体験料収入】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

38

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(3)	雇用の創出を図る				
具体的な施策	ア	人財の確保				
	①	第一次産業等における担い手の確保				
項目	★	新規林業就業者数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
森林政策課	★新規林業就業者数	15	人	6	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	-	-	15	人
実績値	5	11	13	15		人
目標に対する達成率	33%	73%	87%	100%		累計目標
基準値に対する増減率	-17%	83%	117%	150%		
評価	評価なし	評価なし	評価なし	評価なし		
PLAN: 取組内容	新規林業就業者への研修支援(林業労働力確保育成支援事業) 等					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	1事業体で2名採用された。 事業内容 ・OJT研修への補助 ・実習生指導への補助 ・就職説明会参加への補助 ・安全衛生対策					
CHECK: 分析	就業体験希望者の実習生指導(3事業体4名)や、林業専門の就職説明会に参加し新規林業就業者確保を図るなど、新規林業就業者数の増加に向けた取組を積極的に行っている。					
ACTION: 今後の対応	林業担い手の確保に向け、各事業体の就職説明会等への積極的な参画を促すとともに、これらに必要な支援策の充実を図る。また引き続き林業従事者の育成、労働災害防止等への支援を継続して行っていく。					

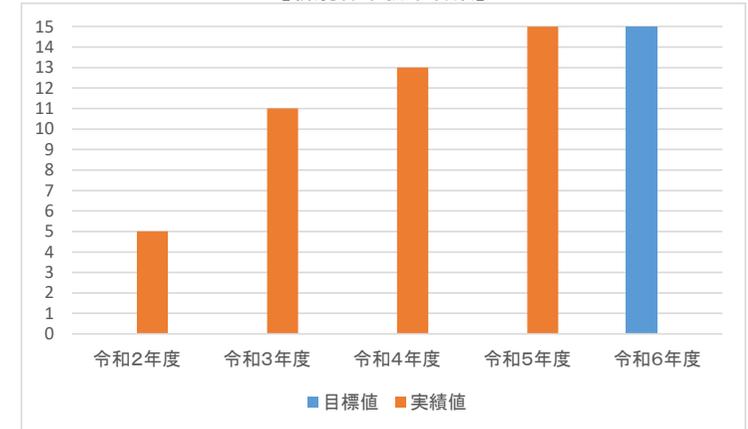
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【新規林業就業者数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	評価なし

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

39

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(3)	雇用の創出を図る				
具体的な施策	ア	人財の確保				
	①	第一次産業等における担い手の確保				
項目	★	新規等林業就業者への研修支援				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
森林政策課	★新規等林業就業者への研修支援	55	人	11	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	-	-	55	人
実績値	12	28	41	48		人
目標に対する達成率	22%	51%	75%	87%		累計目標
基準値に対する増減率	9%	155%	273%	336%		
評価	評価なし	評価なし	評価なし	評価なし		
PLAN: 取組内容	新規林業就業者への研修支援(林業労働力確保育成支援事業) 等					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	●1年目:2名 ●2年目:2名 ●3年目:3名 合計 7名 事業内容 ・OJT研修への補助 ・実習生指導への補助 ・就職説明会参加への補助 ・安全衛生対策					
CHECK: 分析	令和元年度実績と比較し1年目の研修人数が4名減少、2年目1名増、3年目1名増。 各林業事業体は年間を通じて職員募集を積極的に行っており、令和5年度の事業対象人数(9名)は令和元年度と比較し2名減となったが、継続的な雇用が行われている。					
ACTION: 今後の対応	林業担い手の確保に向け、各事業体の就職説明会等への積極的な参画を促すとともに、これらに必要な支援策の充実を図る。また引き続き林業従事者の育成、労働災害防止等への支援を継続して行っていく。					

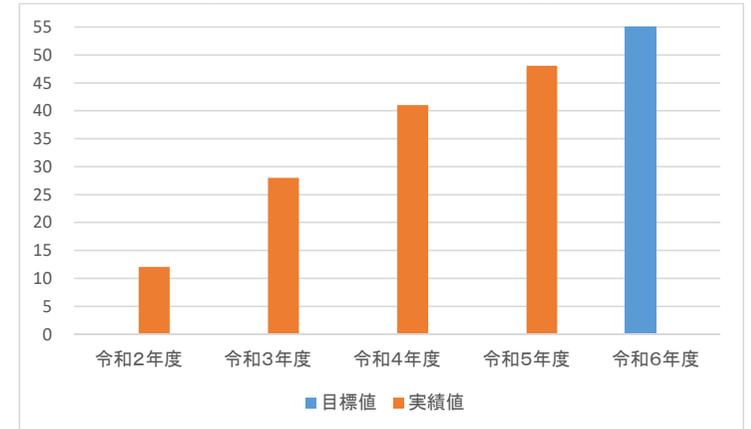
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【新規等林業就業者への研修支援】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	評価なし

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 40

基本目標	1	産業活性化と安定した雇用を創出する				
基本的方向	(3)	雇用の創出を図る				
具体的な施策	イ	人財の育成				
	①	各領域の専門家集団の養成				
項目	★	大学等との連携した事業展開検討				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★大学等との連携した事業展開検討	3	件	2	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	3	3	3	件
実績値	2	1	1	3		件
目標に対する達成率	67%	33%	33%	100%		単年度目標
基準値に対する増減率	0%	-50%	-50%	50%		
評価	△	△	△	○		
PLAN: 取組内容	高知大学地域連携推進センター等と連携した取組み					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	地域連携課地方創生推進室を通じ『高知大学えんむすび隊』及び『高知大学美術部』と協力し、LLP壘と共に、紙灯ろうの設置や竹灯ろうの設置を行い、官民連携まちなか再生に向けた実証実験を行った。また、高知大学人文学部の田中ゼミの学生が官民連携まちなか再生の実証実験の一つである『まちなかバスケット』に参加し、賑わい創出等を行った。 また、高知県立大学と連携し、越裏門・寺川地区集落活動センターにおいて、原木まいたけの植菌作業を行った。					
CHECK: 分析	高知大学との連携で、活動を主体的にしている団体等とは活動の広がりをみせているものの、その他の活動については、大学とのマッチングの機会や連携事業の話し合いはなかった。 高知県立大学との連携では、作業を通じて集落活動センターや地域の暮らしについて知ってもらい、交流を深めることを目的として実施したが、参加者を限定せず募集したため、県外に就職が決まっている学生2名の参加となった。					
ACTION: 今後の対応	R6年度については、まちなか再生の実証実験の中で、地域連携課地方創生推進室とまちづくり協議会で協議し、マッチングの機会等を増やしていきたい。 高知大学だけでなく、高知県立大学とも引き続き連携をとり、県内で就職を希望している学生に限定するなど、年間を通して同じ人に関わってもらうことで交流を深め、将来何らかの形で氷室の里の取組に協力してもらえるような関係人口の増加につなげたい。					

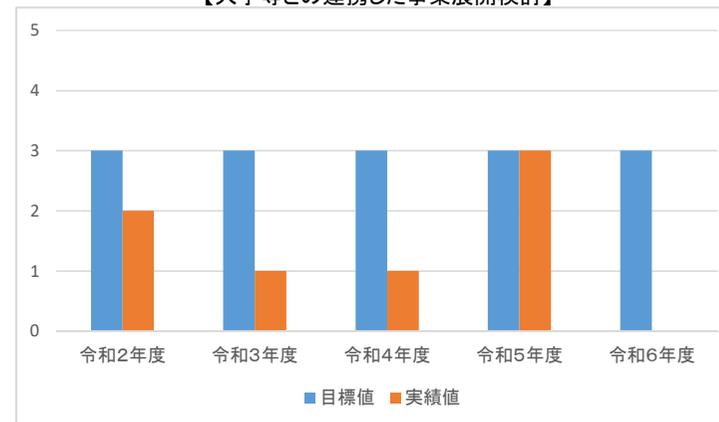
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【大学等との連携した事業展開検討】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	総合戦略の中では、大学連携が「専門家集団の養成」に位置付けられているが、現在の取組は「地域づくり及び学生教育」に当たると思うので、次期計画で「地域づくり及び学生教育」として大学連携を行うのであれば、そのような定義づけを行った方が良い。
総合評価	○ 目標値と同等

基本目標2 新しい人の流れをつくる

基本的方向	連番	担当課	具体的な施策(詳細)	単位	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値	R5 目標値	R5 実績値	総合評価	R6(最終年度) 時点	累計
(1)いの町を知ってもらう	1	総合政策課	いの町ホームページへのアクセス数	回以上	20000	75,509	75,500	66,266	76,000	63,535	76,500	46,734	△	77,000	
	2	教育委員会	i-check(アイチェック)による学級の絆のiスコアの割合	%以上	-	-	80	80.8	80	84.5	80	87.7	◎	80	
	3	教育委員会	「自分には良いところがある」の肯定的回答の割合	%以上	85	72.4	85	70.9	85	72.4	85	76.5	△	85	
	5	教育委員会	ぶっくりハート体操の取組み人数	人以上	-	701	-	696	-	1,059	-	679	評価なし	2,000	○
	6	教育委員会	ぶっくりハートのキャラクターを活用したノベルティ商品の開発	商品	-	0	-	0	-	0	-	0	評価なし	8	○
	(2)いの町への関わりをつくる	8	総合政策課	ふるさと納税寄付件数	件以上	8,200	12,280	8,200	11,967	13,000	12,980	13,000	13,543	◎	13,000
9		総合政策課	移住相談者数	件(年平均)以上	300	193	300	213	300	178	300	149	△	300	
10		総合政策課	移住相談後、いの町を案内した人数	人(年平均)以上	50	56	50	40	50	32	50	58	◎	50	
(3)いの町に住んでいただく	11	総合政策課	県外からの移住者数	組(年平均)以上	10	11	10	23	10	10	10	24	◎	10	
	12	本川教育事務所	町外から山村留学生新規留学生数	人(年間)以上	3	7	3	4	6	8	7	8	◎	7	
	13	産業経済課	中心市街地 新規開業事業所数	事業所	2	2	2	8	1	4	1	2	◎	7	○

※連番「4」と「7」は欠番

※連番13は、基本目標1連番28の再掲分

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

1

基本目標	2	新しい人の流れをつくる			
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらう			
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらう！」ための取り組み			
	①	PR・情報発信			
項目	★	いの町ホームページへのアクセス数			
担当課	重要業績評価指標(KPI)			基準値: 令和元年度	
	令和6年度			実績等	
総合政策課	★いの町ホームページへのアクセス数	77,000	回以上	43,502	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	20,000	75,500	76,000	76,500	77,000
実績値	75,509	66,266	63,535	46,734	
目標に対する達成率	378%	88%	84%	61%	
基準値に対する増減率	74%	52%	46%	7%	
評価	◎	△	△	△	
PLAN: 取組内容	「いの町」を移住先を選んでいただくため、いの町移住応援サイト「ハッピーいの町ターン」を運用し、きめ細かに当町の移住支援事業を紹介する。				
DO: 実績 (事業内容等を記載)	サイト上では、空き家バンク物件と中間管理住宅の紹介、ハローワークと農林業の求人情報を掲載し、『住まい』と『仕事』両方の情報発信を行ったが、実績値を下回った。				
CHECK: 分析	トップページのデザインや町民図鑑の情報提供が古くなっており、魅力の低下も原因となっている。				
ACTION: 今後の対応	トップページデザインの検討を行い、魅力があるサイトを作成する。 空き家バンク物件数の増加を図るため、空き家調査地域の計画を立て重点的に調査を行うことで、物件登録の増加を図り、随時新しい情報をホームページで公開することで、アクセス数の増加を図る。 そして、現在のホームページの情報発信の対象が移住希望者向けであることから、空き家で生じるデメリットや補助制度の紹介など空き家所有者に向けた情報発信も行う。 また、町民図鑑等の更新も含め、移住希望者にいの町での暮らしの参考になるような情報発信を行う。				

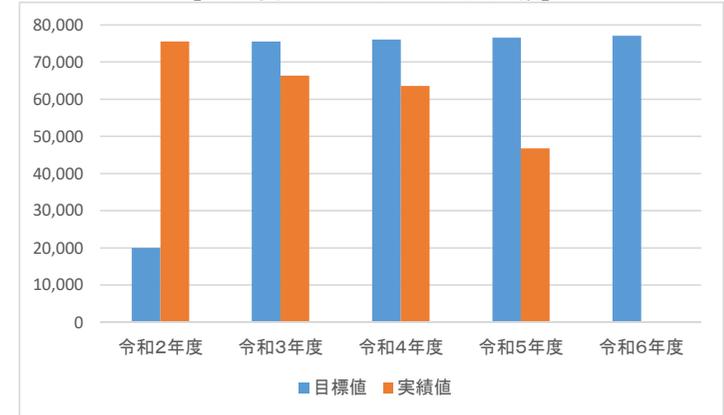
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【いの町ホームページへのアクセス数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	<p>現在、情報発信についてホームページだけでなくSNSが主流になってきている。いの町を知ってもらう指標をホームページのアクセス数だけでなく、より適切な指標にするよう検討願いたい。</p> <p>また、分析した結果の解決として、今年度ホームページの見直しをしっかりとやっていただきたい。</p>
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

2

基本目標	2	新しい人の流れをつくる			
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらう			
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらおう！」ための取り組み			
	(2)	いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」			
項目	★	i-check(アイチェック)による学級の絆のiスコアの割合			
担当課	重要業績評価指標(KPI)			基準値: 令和元年度	
	令和6年度			実績等	
教育委員会	★i-check(アイチェック)による学級の絆のiスコアの割合	80	%以上	-	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	-	80	80	80	80
実績値	-	80.8	84.5	87.7	
目標に対する達成率	-	101%	106%	110%	
基準値に対する増減率	-	-	-	-	
評価		◎	◎	◎	
PLAN: 取組内容	いの町令和の教育ビジョンを策定し、「そろえる教育から一人一人を伸ばす教育へ」を目指し、4つのプロジェクトを中心に取組を進める。そのPROJECT03「誰一人取り残さない」として、各校において安心・安全な学校・学級づくりや、個別最適な学びやICTを活用した支援に取り組む。				
DO: 実績 (事業内容等を記載)	教育委員会事務局に新たに配置した「個別最適な学び推進コーディネーター」が、伊野中学校に新たに設置した「校内サポートルーム」の運営を支援するとともに、校区内の小学校や教育支援センターとの連携の推進に努めた。 i-checkで学級の絆のiスコアが3.2を超えた学級数は1回目 81.3%、2回目は87.7%となり、1回目2回目ともに目標値を超えた。				
CHECK: 分析	2回目のi-checkは12月に実施したものであり、約90%の児童生徒が「学級に絆がある」と回答していることから、多くの子どもにとって安心感や居場所がある学級ができていると考えられる。				
ACTION: 今後の対応	これまで取り組んできた「ほめて」「認めて」「励ます」ことを継続するとともに、全ての子どもにとって安心・安全な学校・学級づくりも継続し、成功体験を積み重ねていく。				

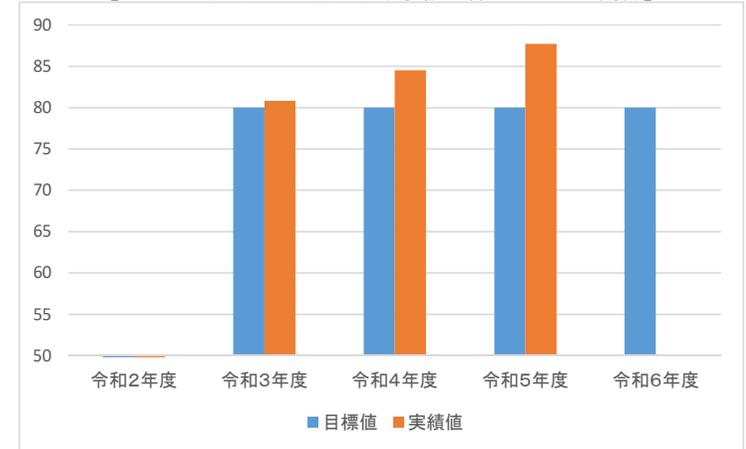
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【i-check(アイチェック)による学級の絆のiスコアの割合】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	いの町を知ってもらおうことと新しい人の流れをつくることにどうつなげるのか検討願いたい。
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

3

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらう				
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらう！」ための取り組み				
	(2)	いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」				
項目	★	「自分には良いところがある」の肯定的回答の割合				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★「自分には良いところがある」の肯定的回答の割合	小中学校とも85	%以上	76.3	%	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	%以上
実績値	72.4	70.9	72.4	76.5		%
目標に対する達成率	85%	83%	85%	90%		単年度目標
基準値に対する増減率	-5%	-7%	-5%	0%		
評価	△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	いの町令和の教育ビジョンを策定し、「そろえる教育から一人一人を伸ばす教育へ」を目指し、4つのプロジェクトを中心に取組を進める。そのPROJECT03「誰一人取り残さない」として、各校において安心・安全な学校・学級づくりや、個別最適な学びやICTを活用した支援に取り組む。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	教育委員会事務局に新たに配置した「個別最適な学び推進コーディネーター」が、伊野中学校に新たに設置した「校内サポートルーム」の運営を支援するとともに、校区内の小学校や教育支援センターとの連携の推進に努め、肯定的な回答の割合が4.1%増加した。					
CHECK: 分析	目標値には及ばなかったが、前年度より肯定的な回答の割合が4.1%増加し、基準値を上回ることができた。					
ACTION: 今後の対応	これまで取り組んできた「ほめて」「認めて」「励ます」ことを継続するとともに、全ての子どもにとって安心・安全な学校・学級づくりも継続し、成功体験を積み重ねていく。					

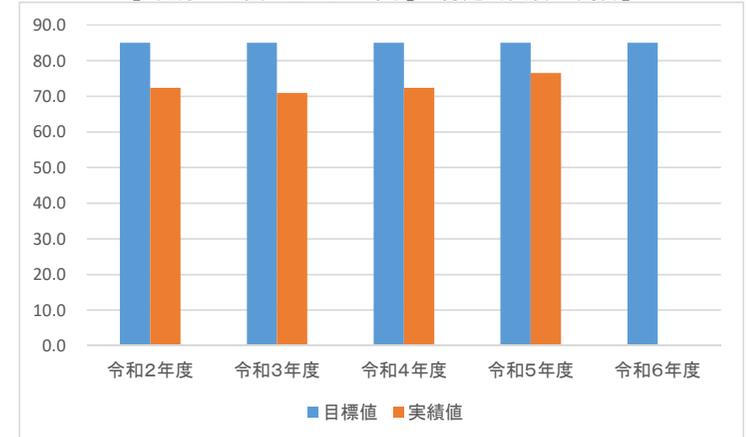
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【「自分には良いところがある」の肯定的回答の割合】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

5

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1)	いの町を知ってもらおう				
具体的な施策	(ア)	「いの町を知ってもらおう！」ための取り組み				
	(2)	いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」				
項目	★	ぶっくりハート体操の取組み人数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★ぶっくりハート体操の取組み人数	2,000	人以上	-	-	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	-	-	2000	人以上
実績値	701	696	1,059	679		人
目標に対する達成率	-	-	-	-		累計目標
基準値に対する増減率	-	-	-	-		
評価	評価なし	評価なし	評価なし	評価なし		
PLAN: 取組内容	町内の保育園、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校の運動会やぐりぐらひろばでぶっくりハート体操を、子どもと一緒にを行う。 ほけん福祉課主催「るんるん若がえる体操」に同行し、高齢者と一緒にぶっくりハート体操を行う。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	保育園で1回、学校で1回、地域子育て支援センターで6回、公共施設で1回の合計9回ぶっくりハート体操を行った。特に、地域子育て支援センターには定期的に訪問することで、毎回楽しみにしてくれる乳児、幼児が増えた。 公共施設では地域の高齢者と園児の交流会での体操に、高校生が学年単位で参加してくれ、高校の取組としても定着した。					
CHECK: 分析	園や学校、地域子育て支援センターでの活動が定着し、子どもだけではなく保護者へのPRも進んだ。					
ACTION: 今後の対応	教育委員会事務局職員での対応していたが、業務との調整で人員調整が難しくなったため、今後は、貸し出しを中心にしていく。					

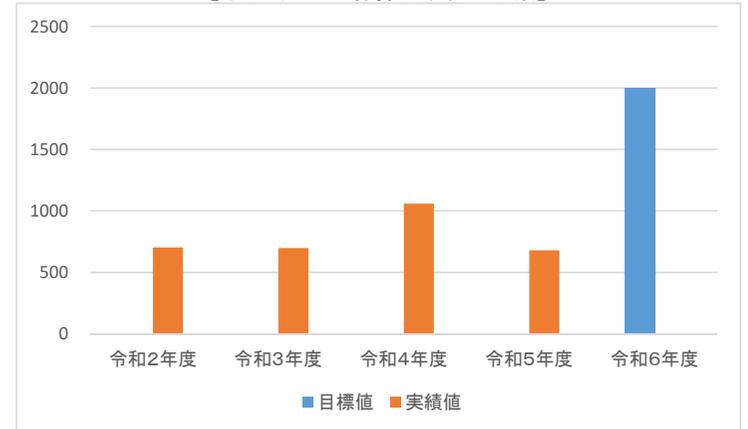
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【ぶっくりハート体操の取組み人数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	いの町を知ってもらおうことと新しい人の流れをつくることにどうつなげるのか検討願いたい。
総合評価	評価なし

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

6

基本目標	2 新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1) いの町を知ってもらう				
具体的な施策	(ア) 「いの町を知ってもらう！」ための取り組み				
	② いの町の特徴的な取り組み「町民を対象とした「心の教育」の充実」				
項目	★ ぷっくりハートのキャラクターを活用したノベルティ商品の開発				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度
	令和6年度				実績等
教育委員会	★ぷっくりハートのキャラクターを活用したノベルティ商品の開発		8	商品	- 商品
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	-	-	-	-	8
実績値	0	0	0	0	
目標に対する達成率	-	-	-	-	
基準値に対する増減率	-	-	-	-	
評価	評価なし	評価なし	評価なし	評価なし	
PLAN: 取組内容	他課等と連携し、ぷっくりハートちゃんをモチーフにしたノベルティ商品を開発し、町内外にぷっくりハートのPR活動につなげる。				
DO: 実績 (事業内容等を記載)	業務との兼ね合いで、他課との連携を進めていくことができず、商品開発まで至らなかった。				
CHECK: 分析	活動がぷっくりハート体操を行うことだけにとどまり、町内外業者へのPRができなかった。				
ACTION: 今後の対応	次年度からぷっくりハートちゃんの貸し出しを中心とするため、商品開発は別の機会に行う。				

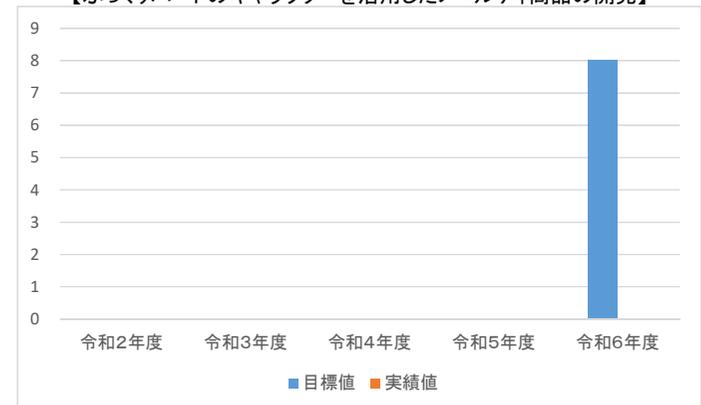
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【ぷっくりハートのキャラクターを活用したノベルティ商品の開発】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	いの町を知ってもらうことと新しい人の流れをつくることとどうつなげるのか検討願いたい。
総合評価	評価なし

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(2)	いの町への関わりをつくる				
具体的な施策	(ア)	多様な形で関わる人々「関係人口」づくり				
	①	「関係人口」づくり				
項目	★	ふるさと納税寄付件数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★ふるさと納税寄付件数	13,000	件以上	10,725	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	8,200	8,200	13,000	13,000	13,000	件以上
実績値	12,280	11,967	12,980	13,543		件
目標に対する達成率	150%	146%	100%	104%		単年度目標
基準値に対する増減率	-	-	21%	26%		
評価	◎	◎	○	◎		
PLAN:取組内容	返礼品のバリエーションや登録数を増やすために、新規事業者の開拓を行う。 返礼品情報を分かり易く伝えるために、ポータルサイト内の返礼品写真の見直しおよび撮り直し。 露出度をあげるために掲載サイト数を増やす。 人気返礼品の数量の確保 県内寄付額上位市町村で構成している自治体連携に加入し、共同返礼品の出品や、意見交換会への参加 仁淀川流域(日高村、土佐市)の市町村と定期便を考案し、受付・発送					
DO:実績 (事業内容等を記載)	令和5年度は、参入を始めた平成20年度以降、件数金額ともに最も多くの寄附を集めた。 特に9月の駆け込み需要は、通常の12月に近い程の寄附があり、その後も顕著な落ち込みがなかったことから、こういった結果となった。 特にトイレトペーパーなどの紙製品が、年々件数が増え、リピートも増えている状況となっている。					
CHECK:分析	10月のふるさと納税制度の改定の影響や、日用品等の需要が高まったことが影響し、寄附額並びに寄附件数は、軒並み好調であった。 特に9月の駆け込み需要は、通常の12月に近い程の寄附があり、その後も顕著な落ち込みがなかったことから、こういった結果となった。 特にトイレトペーパーなどの紙製品が、年々件数が増え、リピートも増えている状況となっている。					
ACTION:今後の対応	日用品の伸びを感じているものの、果物や野菜などの生鮮食品は、制度改定後寄附額が上がったこともあり、伸び悩みを感じている事業者も多い。 寄附全体の伸びや、そこからの関係人口増を目指すのは当然のことであるが、これまで以上に魅力あるいの町の特産品の売り出し方を研究していきたい。					

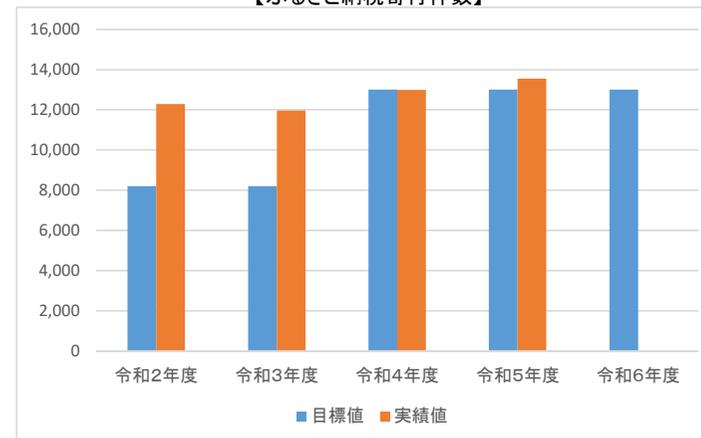
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【ふるさと納税寄付件数】



推進委員会による検証なし

意見	新規事業者の開拓に対する分析と今後の取組を整理し、ふるさと納税を利用して関係人口をさらに増やす取組があれば良い。
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

9

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(2)	いの町への関わりをつくる				
具体的な施策	(ア)	多様な形で関わる人々「関係人口」づくり				
	(2)	いの町を「移住先」として選んでいただく				
項目	★	移住相談者数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★移住相談者数	300	件(年平均)以上	508	件	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	300	300	300	300	300	件(年平均)以上
実績値	193	213	178	149		件
目標に対する達成率	64%	71%	59%	50%		単年度目標
基準値に対する増減率	-62%	-58%	-65%	-71%		
評価	△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	「いの町」を移住先を選んでいただくため、いの町移住応援サイト「ハッピーいの町ターン」の運用や県主催の移住フェアに参加するとともに、移住専門相談員を設置し移住相談に対し、きめ細かに対応する。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和5年度の移住相談者数は149件となった。					
CHECK: 分析	高知県主催の移住者フェアを6月、12月、1月にリアル開催できたが、相談者数は昨年度と比べると減っている。					
ACTION: 今後の対応	対面式での相談対応を前提としたうえで、ZOOMなどのオンラインを活用した移住相談を柔軟に対応する。また、移住専門相談員を中心として、移住支援事業の紹介やいの町の魅力発信を行い、「いの町」を移住先として選んでいただけるようきめ細かな対応を行う。					

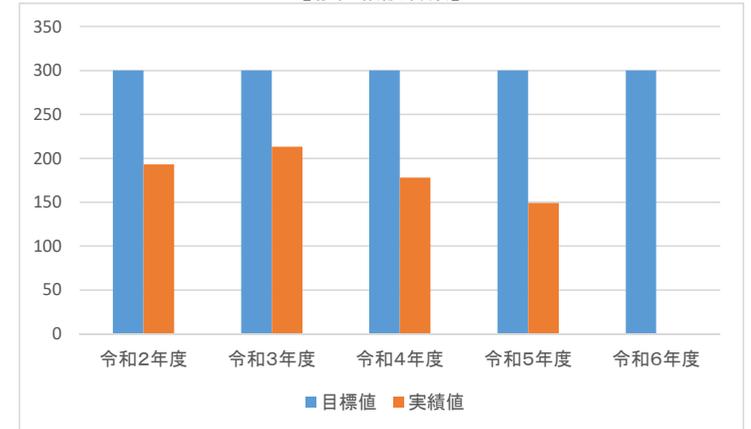
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【移住相談者数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

10

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(2)	いの町への関わりをつくる				
具体的な施策	(ア)	多様な形で関わる人々「関係人口」づくり				
	(2)	いの町を「移住先」として選んでいただく				
項目	★	移住相談後、いの町を案内した人数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★移住相談後、いの町を案内した人数	50	人(年平均)以上		21	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	50	50	50	50	50	人(年平均)以上
実績値	56	40	33	58		人
目標に対する達成率	112%	80%	66%	116%		単年度目標
基準値に対する増減率	167%	90%	57%	176%		
評価	◎	△	△	◎		
PLAN: 取組内容	移住応援サイト「ハッピーいの町ターン」で、空き家バンク物件・中間管理住宅を紹介し、移住希望者に希望の物件を案内する。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	移住応援サイト「ハッピーいの町ターン」で、下記物件を紹介し、内見案内をした人数は下記のとおり。 空き家バンク内見者数: 33人 中間管理住宅内見者数: (第7号)5人、(第8号)20人					
CHECK: 分析	空き家バンクの内見者数は横ばいであるが、中間管理住宅の内見者数は、地区の内覧会での成果があった。					
ACTION: 今後の対応	移住希望者に対し、紹介できる物件が少ないことが課題となっている。移住専門相談員を中心とした地区の空き家調査を実施し、空き家バンク物件・中間管理住宅物件を確保し、内見案内者数の増加に努める。					

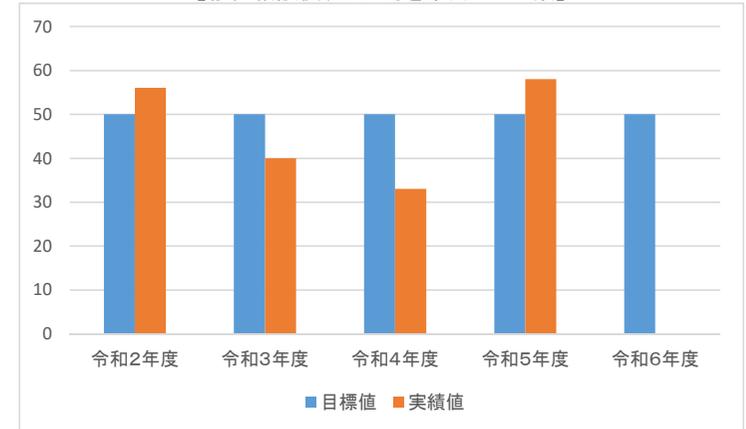
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【移住相談後、いの町を案内した人数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	移住希望者のニーズとしては、古民家や山間部の一軒家が多く、このニーズに対応できるよう空き家調査や物件確保を行っていると思うが、移住者の中には山間部での災害の怖さを知らない方もいるので、そういったことも踏まえた空き家調査や移住相談の対応が必要である。
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

11

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(3)	いの町に住んでいただく				
具体的な施策	(ア)	移住定住の促進				
項目	★	県外からの移住者数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★県外からの移住者数	10 組(年平均)以上			12	組
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	10	10	10	10	10	組(年平均)以上
実績値	11	23	10	24		組
目標に対する達成率	110%	230%	100%	240%		単年度目標
基準値に対する増減率	-8%	92%	-17%	100%		
評価	◎	◎	○	◎		
PLAN: 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・県主催の移住フェアへの出店 ・移住専門相談員の設置 ・空き家バンク制度、中間管理住宅制度、お試し滞在住宅 <p>主に以上の事業を実施し、いの町への移住者の増加・人口の社会減少の抑制を図る。</p>					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	<p>【県主催移住フェア】 6月・12月に東京・大阪で開催、1月に東京で開催。</p> <p>【移住専門相談員の配置】 3名配置し、移住相談に対しきめ細かに対応できる体制を整備した。また、空き家調査を重点に行うこともできた。</p> <p>【空き家バンク・中間管理住宅】 空き家調査数: 893件 内、バンク登録物件数: 8件 中間管理住宅: 加田地区(第7・8号)整備。第7・8号とも入居済み。</p> <p>【お試し滞在住宅】 高野邸: 稼働率 9.56% 利用者: 8世帯16名</p>					
CHECK: 分析	<p>転入者アンケートに取り組むことで、総合政策課に移住相談がなかった移住者数も拾い出すことができた。</p> <p>移住専門相談員が1名増員になったことにより、空き家調査を重点に行うことができた。</p> <p>お試し滞在住宅の稼働率は移住者増に起因して、昨年度(高野邸: 稼働率 5.21% 利用者: 3世帯10名)と比べ増えているが、依然低い。</p>					
ACTION: 今後の対応	<p>移住希望者に対し、紹介できる物件が少ないことが課題となっているため、移住専門相談員を中心とした地区の空き家調査を実施し、空き家バンク物件・中間管理住宅物件を確保し、移住者の増加に努める。</p> <p>空き家バンク物件登録数の増加に向けては、過去に登録に至らなかった物件に対し、再度所有者に登録について意向を確認するなど後追いを行っていく。</p> <p>お試し滞在住宅の利用推進も含めて、観光目的でもまずいの町へ来てもらうことを目指し、対応していく。</p>					

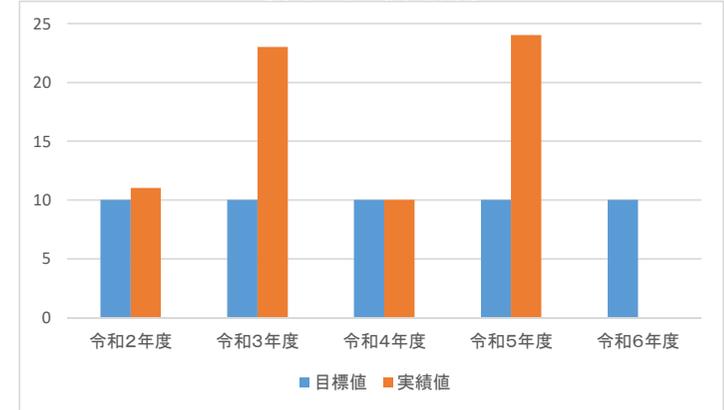
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【県外からの移住者数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	<p>転入者アンケートにより、総合政策課に移住相談がなかった転入者も把握できたことは良い。</p> <p>また、いの町に勤めているが住んでいない方に対しアンケート調査を実施し何が阻害しているのかといった分析や、転入した後のサポート、転出抑制も大事なので今後検討願いたい。</p>
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

12

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(3)	いの町に住んでいただく				
具体的な施策	(イ)	町外からの人財・企業の誘致				
項目	★	町外からの山村留学生新規留学生数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
本川教育事務所	★町外からの山村留学生新規留学生数	7	人(年間)以上		7	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	6	7	7	人(年間)以上
実績値	7	4	8	8		人
目標に対する達成率	233%	133%	133%	114%		単年度目標
基準値に対する増減率	0%	-43%	14%	14%		
評価	◎	◎	◎	◎		
PLAN: 取組内容	本川中学校部活動指導者の雇用					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	昨年度に引き続き、実力のある部活動指導員を雇用し、バドミントン部活動の充実した学校として情報発信を行った。当該指導員は、スポーツ学を学んでおり、培った知識を十分に発揮し、生徒の生活面、精神面でのフォローアップもできた。					
CHECK: 分析	募集人数を上回る山村留学希望者からの問い合わせがあり、目標人数を確保できた。バドミントン部については、各生徒が日々の鍛錬を行っている。県の中学校総合体育大会においてベスト8の成績を残す生徒もおり、指導員の活動の成果が認められる。					
ACTION: 今後の対応	指導員が令和5年度の7月末で退職。令和6年度においては、部活動に限らず、様々な魅力的な活動を発信し、引き続き山村留学生の確保に努めていく。					

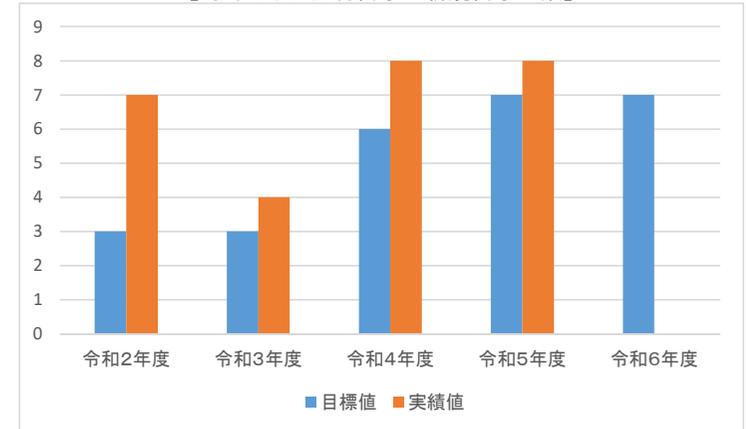
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【町外からの山村留学生新規留学生数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

13

基本目標	2	新しい人の流れをつくる			
基本的方向	(3)	いの町に住んでいただく			
具体的な施策	(イ)	町外からの人財・企業の誘致			
項目	★	中心市街地 新規開業事業所数			
担当課	重要業績評価指標(KPI)			基準値: 令和元年度	
	令和6年度			実績等	
産業経済課	★中心市街地 新規開業事業所数	7	事業所	7	事業所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	2	2	1	1	1
実績値	2	8	4	2	
目標に対する達成率	100%	400%	400%	200%	
基準値に対する増減率	-71%	14%	-43%	-71%	
評価	○	◎	◎	◎	
PLAN: 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業立地の取り組み（いの町産業振興奨励金）等 ■ いの町空き店舗対策家賃補助助成事業（創業支援事業） ■ 第2期いの町中心市街地活性化計画を策定（R4.12月） 				
DO: 実績 (事業内容等を記載)	<p>いの町産業振興奨励金（高知食糧㈱たまごセンター）を実施した。</p> <p>いの町空き店舗対策家賃補助助成事業 5件:MATE（美容室）、ラグーン（エステ）、駅前食堂楽家（飲食）、廣福堂（雑貨）、カラアゲ推し鶏（飲食）を実施した。いの町ホームページに創業支援について掲載した。</p> <p>新規開業 2件:oak bakery（パン屋）、ライアンズキッチン（飲食）</p>				
CHECK: 分析	<p>近年は安定した新規出店がある。同エリアの店舗数の推移は、H27・77店舗、R1・73店舗、R4・73店舗となっており、廃業する店舗もある中、商店街としての役割を維持している。</p> <p>毎年一定の新規出店の相談があるが、利用可能な空き店舗が少なく、出店機会を逃している。</p> <p>中心市街地で開催されるイベント等には、同エリアの事業者への積極的な参加を呼びかけ、店舗の認知度・売上げ向上を促した。</p>				
ACTION: 今後の対応	<p>使える空き店舗の継続した掘り起しが必要。れんけいこうちや商工会等と連携して情報収集や情報発信力を向上させる。</p> <p>新規開業した事業者の情報等を知ってもらう機会を作る。</p>				

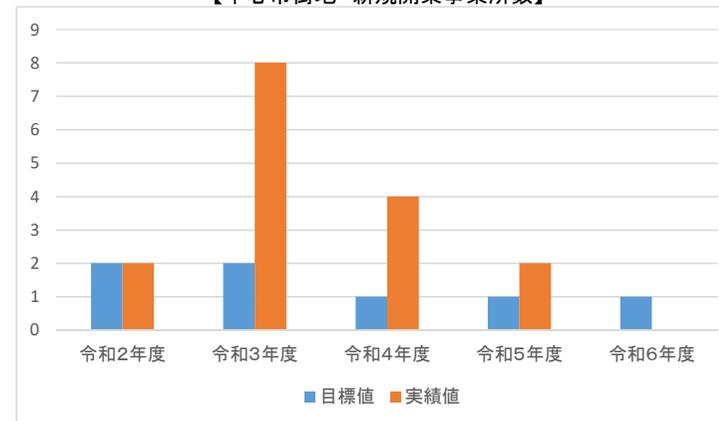
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【中心市街地 新規開業事業所数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

基本目標3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する

基本的方向	連番	担当課	具体的な施策(詳細)	単位	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値	R5 目標値	R5 実績値	総合評価	R6(最終年度) 時点	累計
<p>(1)誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進 (ア)安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築</p> <p>(2)女性の活躍の場を拡大する (ア)女性の活躍の場を拡大する</p>	1	総合政策課	出会いイベント数	回	2	1	4	1	6	2	7	3	△	8	○
	2	総合政策課	出会いイベントでのマッチング数	組	3	3	6	3	9	5	12	8	△	16	○
	3	総合政策課	サポーター数(婚活・マッチング・サブ)	人	3	2	6	2	9	5	12	8	△	14	○
	4	教育委員会	子育て支援センターへの来訪者数(プレママほっとルーム除く。)	人(年平均)以上	7100	4,277	7,100	5,683	7,100	6,573	7,100	6,728	△	7,100	
	5	教育委員会	子育て支援センター内プレママほっとルームへの来訪者数	人(年平均)以上	100	206	100	132	100	242	200	244	◎	200	
	6	ほけん福祉課	1歳6か月児健診の受診率	%	100	100	100	97	100	95	100	98	△	100	
	7	ほけん福祉課	3歳児健診の受診率	%	100	98.6	100	96	100	93	100	103	◎	100	
	8	教育委員会	児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む。)	件(年平均)以下	1300	1219	1,300	1,017	1,300	1,289	1,300	1,209	◎	1,300	
	9	教育委員会	延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施	か所以上	3	3	3	3	3	3	3	3	○	3	
	10	教育委員会	乳児保育の実施	か所以上	6	6	6	6	6	7	7	7	○	7	
	11	教育委員会	一時預かり事業	か所以上	2	2	2	2	2	3	3	3	○	3	
	12	教育委員会	病後児保育事業	か所	-	-	-	-	3	3	3	3	○	3	
	13	教育委員会	地域子育て支援拠点事業の実施箇所	か所	1	1	1	1	1	1	1	1	○	1	
	14	教育委員会	放課後児童クラブへの主任支援員配置人数	人以上	2	2	2	2	2	2	2	2	○	2	
	15	教育委員会	放課後児童クラブ常勤支援員の専門資格取得率	%以上	50	55	50	81	50	72	50	89	◎	50	
	16	教育委員会	放課後子ども教室開設数(週2回以上開設か所)	か所以上	5	5	5	5	5	5	5	5	○	5	
	17	教育委員会	4か月健診受診者アンケート ブックスタート絵本活用率	%以上	90	0	90	0	90	91	90	90	○	90	
	18	教育委員会	4か月健診受診者アンケート 親子の触れ合いに役立つと感じた割合	%	100	0	100	0	100	100	100	99	△	100	

【推進委員からの意見】

夫婦ともに子育てしやすくなるための事業が書いてあるので、基本的方向「女性の活躍の場を拡大する」の記載を見直すことを検討願いたい。

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

1

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	①	独身者への総合的な出会い・きっかけ支援				
項目	★	出会いイベント数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★出会いイベント数	8	回	3	回	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	4	6	7	8	回
実績値	1	1	2	3		回
目標に対する達成率	50%	25%	33%	43%		累計目標
基準値に対する増減率	-67%	-67%	-33%	0%		
評価	△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	出会いのきっかけづくりだけでなく、地域の特色・特産を体験・味わうことで、町の魅力を感じていただけるようなイベントを、企業・団体とタイアップして開催する。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	3月24日にいの町観光協会への委託事業として、グリーンパークほので出会いイベントを実施した。 内容はデイキャンプ体験として、カレーの食材争奪ゲーム、獲得した食材を使ったカレー作りを実施し、当日は男性7名、女性6名が参加した。					
CHECK: 分析	今回のイベントに関しては、いの町役場から会場まで参加者をバスで送迎を行うこととし、前回以上に参加しやすいイベント内容としたが、男性の応募者数は定員を超えたものの、女性の応募者数が定員を割り、応募者確保に苦慮した。 県下のイベント全体として、女性の参加者が集まらないといった背景があるようで、原因としては特定できていない。					
ACTION: 今後の対応	地域資源を活用し、出会いにつながらなくても参加することでお得感を感じていただける出会いイベントを関係団体と協働した結果、今年度は12月15日に実施予定とした。					

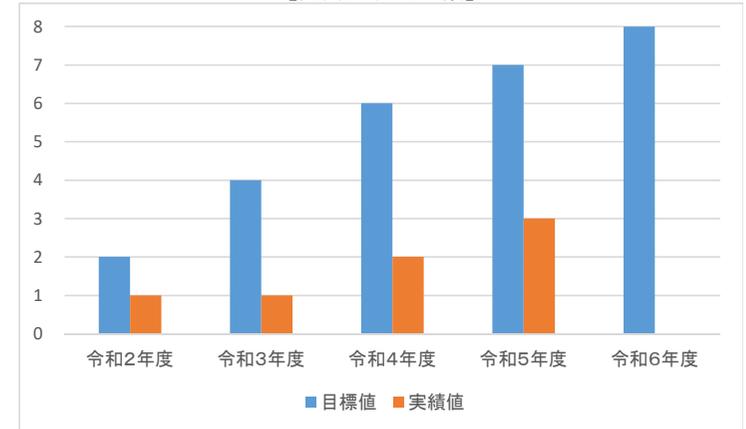
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【出会いイベント数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	<p>県内在住の女性が減少している中で、ますます女性の参加者確保や県内で出会いを探すことも難しくなり、いの町の取組だけでは難しいと感じる。 取組事態は評価できるが、人口が減少していく中、出会いを探すことも数が限られ結果を出すことも難しくなるので、内側に目を向けて、いの町で幸せに暮らし続けられる施策があれば、転入促進と転出抑制にもなる。</p>
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

2

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築
	①	独身者への総合的な出会い・きっかけ支援
項目	★	出会いイベントでのマッチング数

担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★出会いイベントでのマッチング数	16	組	-	組	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	6	9	12	16	組
実績値	3	3	5	8		組
目標に対する達成率	100%	50%	56%	67%		累計目標
基準値に対する増減率	-	-	-	-		
評価	○	△	△	△		

PLAN: 取組内容
 出会いイベント内容において、男女が満遍なく交流できるよう工夫し、マッチング数を少しでも増やす。

DO: 実績
 (事業内容等を記載)
 3月24日にグリーンパークほので開催したデイキャンプ体験出会いイベントにおいて、3組のマッチングが成立し、成立率としては50%であった。

CHECK: 分析
 イベントの前半で1対1プロフィールトーク、食材争奪ゲーム、カレー作り、さらに最後にも1対1プロフィールトークを設定し、前回以上に男女が満遍なく交流できる時間を設けたことにより、マッチングにつながったと分析する。

ACTION: 今後の対応
 限られた時間内に、参加者同士が満遍なく交流できるイベント内容にするなど、創意工夫し引き続きイベントを企画する。

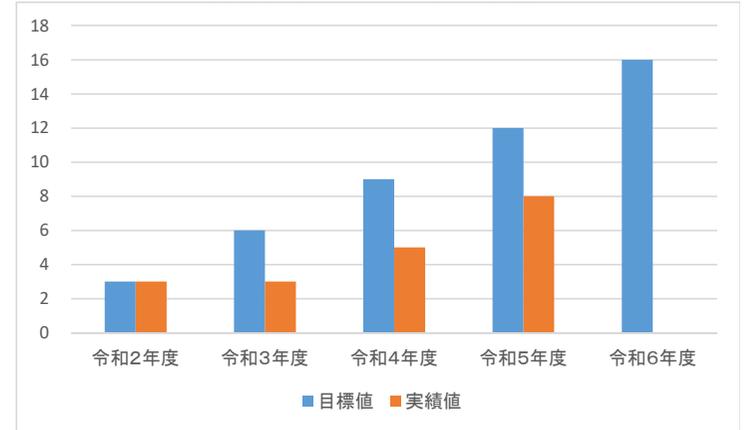
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【出会いイベントでのマッチング数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

3

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	①	独身者への総合的な出会い・きっかけ支援				
項目	★	サポーター数(婚活・マッチング・サブ)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課	★サポーター数(婚活・マッチング・サブ)	14	人	-	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	6	9	12	14	人
実績値	2	2	5	8		人
目標に対する達成率	67%	33%	56%	67%		
基準値に対する増減率	-	-	-	-		累計目標
評価	△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	希望する誰もが安心して希望の時期に結婚できるよう、婚活でのカップル成立から結婚に繋げるために、その支援に携わるサポーターの養成にも取り組む。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	令和5年度は、マッチングサポーター3名が新規登録した。					
CHECK: 分析	広報誌で周知を図った結果、実績3名のうち2名の養成につながった。					
ACTION: 今後の対応	サポーター養成講座開催の周知するほか、個人への声掛けも実施する。					

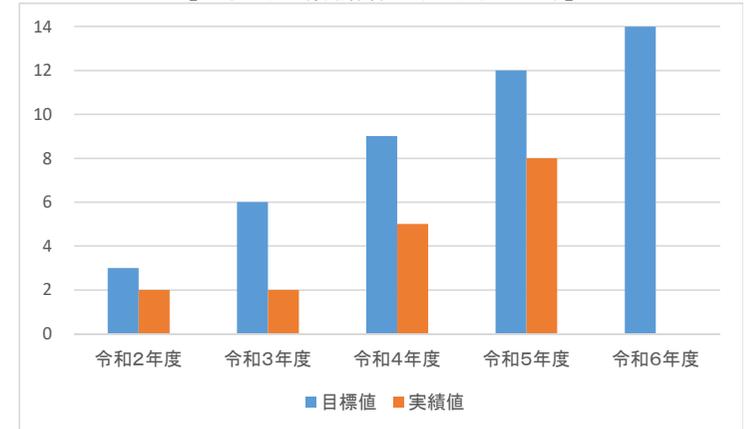
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【サポーター数(婚活・マッチング・サブ)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

4

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(2)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	子育て支援センターへの来訪者数(プレママほっとルーム除く)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★子育て支援センターへの来訪者数(プレママほっとルーム除く)	7,100	人(年平均)以上	6,828	人	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100	人(年平均)以上
実績値	4,277	5,683	6,573	6,728		人
目標に対する達成率	60%	80%	93%	95%		単年度目標
基準値に対する増減率	-37%	-17%	-4%	-1%		
評価	△	△	△	△		
PLAN: 取組内容	地域子育て支援拠点事業 妊娠期から子育て家庭への支援の充実					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	子育て支援センターへの来訪者数6,728人。 保育士の視点から各種事業を推進し、当事者の声にも寄り添いながら、機能の充実を図った。また、母子保健事業との連携により、妊娠期から子育て期までの段階に応じた、きめ細かな支援を行い、出産や育児への不安を軽減する取組を展開した。 ※(事業内容: 子育て家庭の交流の場の提供と交流の促進、子育て等に関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育て及び、子育て支援に関する講習等の実施)					
CHECK: 分析	町内唯一の子育て支援拠点であり、特に未就園児の子育て家庭を包括的に支援する場として重要な事業である。当事者の声にも寄り添いながら拠点の機能強化に努めたことや、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行したこともあり、来訪者数が昨年度を上回ったと考えられる。					
ACTION: 今後の対応	引き続き、妊娠期から子育て期までの包括的な支援を目指して、保健・福祉と連携した切れ目のない子育て支援体制を強化していく。また、地域全体で子育てを支え合う取組を推進し、安心して子育てができる地域づくりに繋げる。					

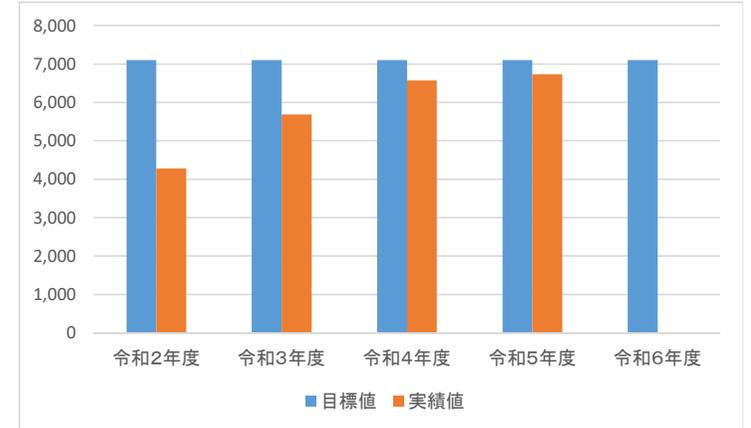
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【子育て支援センターへの来訪者数(プレママほっとルーム除く)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

5

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(イ)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	子育て支援センター内プレママほっとルームへの来訪者数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★子育て支援センター内プレママほっとルームへの来訪者数	200	人(年平均)以上		329	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	100	100	100	200	200	人(年平均)以上
実績値	206	132	242	244		人
目標に対する達成率	206%	132%	242%	122%		単年度目標
基準値に対する増減率	-37%	-60%	-26%	-26%		
評価	◎	◎	◎	◎		
PLAN: 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 産前産後の母親のストレス緩和、赤ちゃんの「心の安全基地づくり」の推進(なないろはあと事業) プレママほっとルームの活用(産前産後の母親の居場所) 妊娠期から子育て期までの段階に応じた、きめ細かな支援、助言、指導を行い、不安感の解消に向けた取組を展開していく。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	プレママほっとルームへの来訪者数244人。 より良い愛着形成のスタート時期である妊婦や就園前の親子、その家族を対象に、小児科医師や助産師との座談会、ベビーマッサージ、ベビー&ママヨガ等子育て支援センターで定期的を実施した。また、プレママほっとルームでは、産前産後の母親が集い交流を図る機会を設けるとともに、個別相談等で出産や育児への不安軽減に繋がる取組も展開した。					
CHECK: 分析	妊娠期から地域と繋がる切れ目のない支援が重要であり、事業内容の充実やプレママほっとルームの活用に継続して努めてきたことで、一定した来訪者数を保つことができていると考えられる。					
ACTION: 今後の対応	妊産婦が集うきっかけとなるように集いの機会の拡充を図り、交流促進や利用への不安軽減につなげる。 対象となる妊産婦への周知を関係機関と連携して行い、必要に応じて個別対応をする。また引き続き、妊娠期から子育て期までの包括的な支援を目指して、保健・福祉と連携した切れ目のない子育て支援体制を強化していく。					

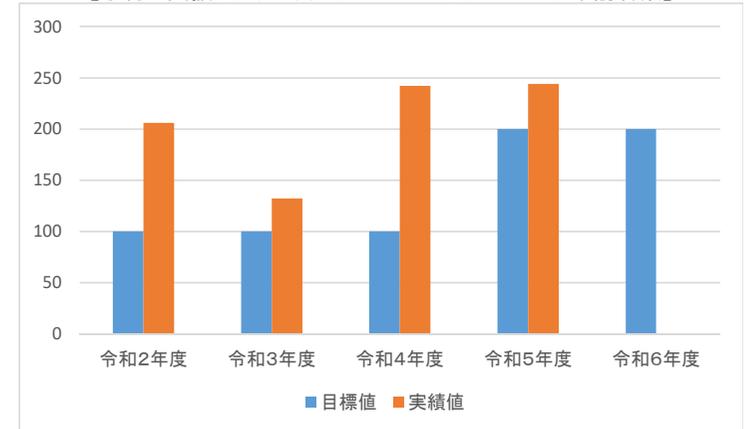
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【子育て支援センター内プレママほっとルームへの来訪者数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

6

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(イ)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	1歳6か月児健診の受診率				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
ほけん福祉課	★1歳6か月児健診の受診率	100	%	98.4		%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	100	100	100	100	100	%
実績値	100	97	95	98		%
目標に対する達成率	100%	97%	95%	98%		単年度目標
基準値に対する増減率	2%	-1%	-4%	-1%		
評価	○	△	△	△		
PLAN: 取組内容	母子保健事業の充実(乳幼児健診)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	多職種による乳幼児健診を実施し、乳幼児の発育・発達状況を確認するとともに、育児不安を抱く親を把握し、助言を行いながら個々の子育てで家庭に寄り添った支援を実施した。					
CHECK: 分析	健診未受診者に保健師の訪問等により児の状態を確認するとともに、健診受診勧奨を行い受診につなげた。未受診者3名中1名は医療機関にて管理中、その他2名は受診勧奨を続けるものの、保護者の意向により健診受診を拒否し、法定年齢を過ぎたため未受診となったが、園訪問や来所対応で現状把握できている。 健診の場で保健師や言語聴覚士、保育士など多職種で親子を観察し、言葉や発達の相談や保健指導を実施。対象児の半数以上が何らかのフォローが必要となっており、親カウンセリング事業、言語聴覚士の個別相談、園訪問等で継続対応している。					
ACTION: 今後の対応	子育て世代包括支援センターの母子保健コーディネーターと、地区担当保健師が連携しながら、妊娠期から継続した関わりを持ち、健診受診勧奨、健診時の育児相談対応および、事後フォローを行うなど切れ目のない支援を実施していく。					

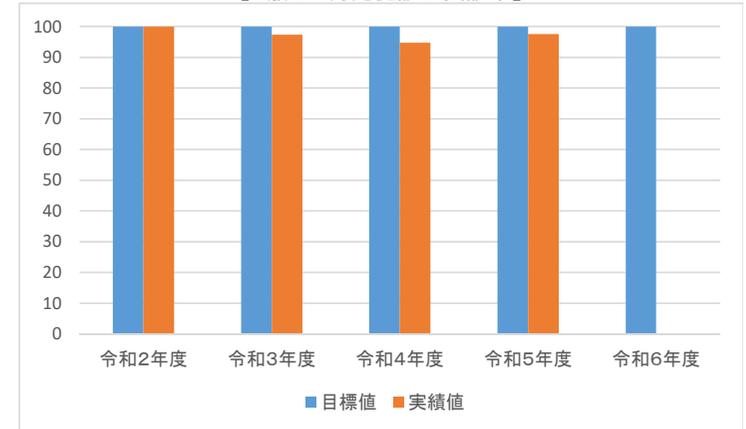
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【1歳6か月児健診の受診率】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

7

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(2)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	3歳児健診の受診率				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
ほけん福祉課	★3歳児健診の受診率	100	%	98.1	%	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	100	100	100	100	100	%
実績値	98.6	96	93	103		%
目標に対する達成率	99%	96%	93%	103%		単年度目標
基準値に対する増減率	1%	-2%	-5%	4%		
評価	△	△	△	◎		
PLAN: 取組内容	母子保健事業の充実(乳幼児健診)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	多職種による乳幼児健診を実施し、乳幼児の発育・発達状況を確認するとともに、育児不安を抱く親を把握し、助言を行いながら個々の子育てで家庭に寄り添った支援を実施した。					
CHECK: 分析	健診未受診者に保健師の訪問等により児の状態を確認するとともに、健診受診勧奨を行い受診につなげた。未受診者は2名で、受診勧奨を続けるものの、保護者の意向により健診受診を拒否し、法定年齢を過ぎたため未受診となったが、園訪問や来所対応で現状把握できている。 健診の場では、保健師や言語聴覚士、保育士など多職種で親子を観察し、言葉や発達の相談や保健指導を実施。対象児の半数以上が何らかのフォローが必要となっており、親力カウンセリング事業、言語聴覚士の個別相談、園訪問等で継続対応している。					
ACTION: 今後の対応	子育て世代包括支援センターの母子保健コーディネーターと、地区担当保健師が連携しながら、妊娠期から継続した関わりを持ち、健診受診勧奨、健診時の育児相談対応および、事後フォローを行うなど切れ目のない支援を実施していく。					

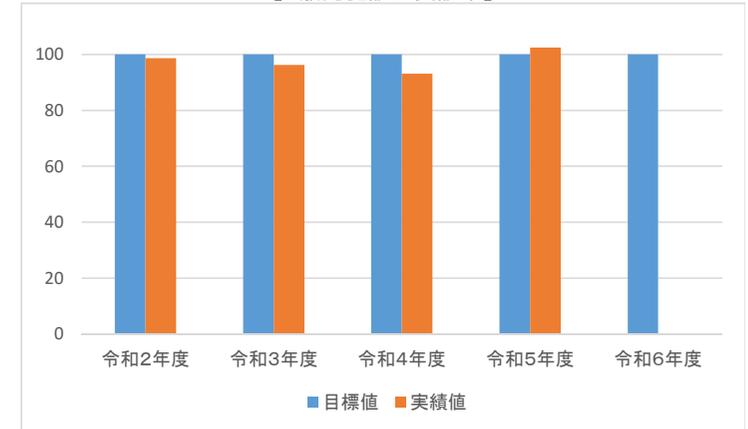
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【3歳児健診の受診率】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

8

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(2)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む)	1,300	件(年平均)以下		1,384	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	件(年平均)以下
実績値	1,219	1,017	1,289	1,209		件
目標に対する達成率	-6%	78%	99%	93%		単年度目標
基準値に対する増減率	-12%	-27%	-7%	-13%		
評価	◎	◎	◎	◎		
PLAN: 取組内容	児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む。)子どもや保護者等からの相談を受け付け、福祉、保健、医療、教育等の関係機関と連携して、子どもの福祉に関する支援業務を行う。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	1,209件 ①実情の把握 ②関係機関と情報共有し、支援方針を共有 ③保護者や子どもへの面談等、継続的な支援を実施					
CHECK: 分析	課題の把握に努め、関係機関と連携して対象家庭への支援を行うなど、養育状況がより良くなるよう注力した。					
ACTION: 今後の対応	教育、保健、福祉、医療等の関係機関と緊密に連携し、様々な社会資源を活用して、養育状況の改善に向けた支援を実施する。					

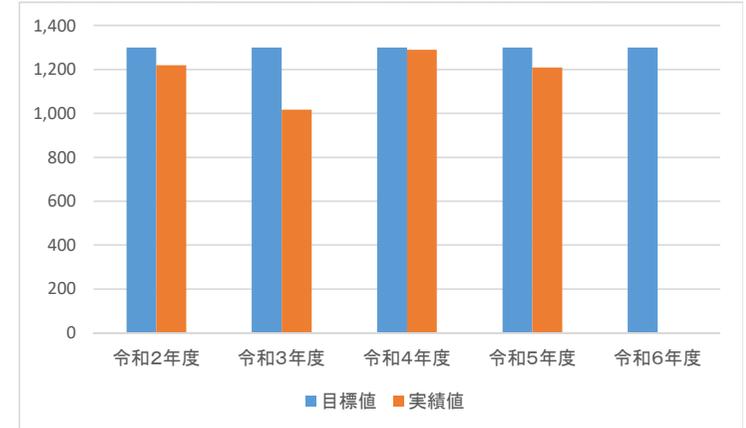
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

9

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施				
担当課		重要業績評価指標(KPI)			基準値: 令和元年度	
		令和6年度			実績等	
教育委員会	★延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施	3	か所以上	3	か所	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		3	3	3	3	3
実績値		3	3	3	3	3
目標に対する達成率		100%	100%	100%	100%	100%
基準値に対する増減率		0%	0%	0%	0%	0%
評価		○	○	○	○	○
PLAN: 取組内容	延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	伊野保育園、あいの保育園、神谷保育園において実施					
CHECK: 分析	延長保育実施により、保護者の就労状況に沿った保育園での受け入れを行い、子育て支援の充実を図った。					
ACTION: 今後の対応	保護者のニーズ及び提供体制により実施を検討する。					

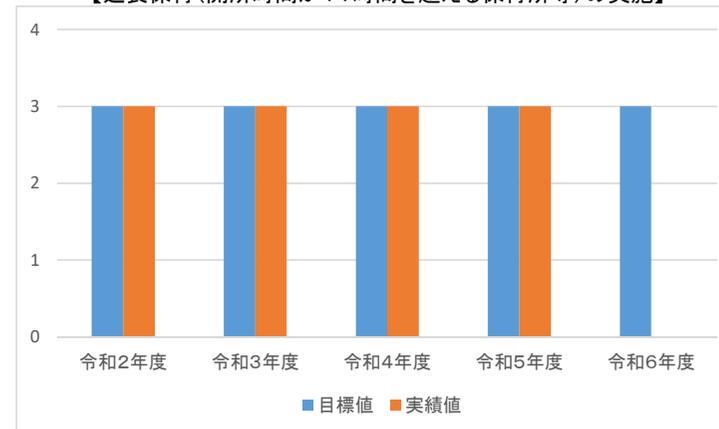
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

10

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	乳児保育の実施				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★乳児保育の実施	7	か所以上	6	か所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	6	6	6	7	7	か所以上
実績値	6	6	7	7		か所
目標に対する達成率	100%	100%	117%	100%		単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	17%	17%		
評価	○	○	◎	○		
PLAN: 取組内容	乳児保育の実施					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	伊野保育園、あいの保育園、天神保育園、神谷保育園、認定こども園えだがわ、認定こども園ごぼく、家庭的保育事業所あんずのぼっけにおいて実施					
CHECK: 分析	共働き世帯の増加により、乳児保育へのニーズが高まっている。乳児保育を6園と1施設で実施し、受け入れ体制の充実を図った。					
ACTION: 今後の対応	引き続き、保護者のニーズに沿った支援体制を検討する。					

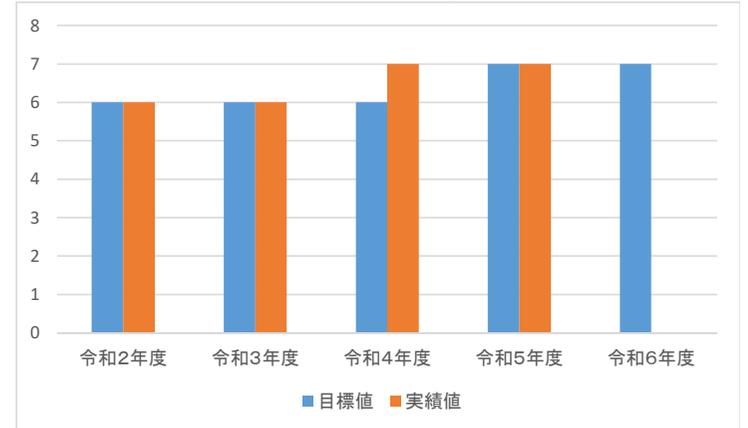
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【乳児保育の実施】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

11

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	一時預かり事業				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★一時預かり事業	3	か所以上	2	か所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	2	3	3	か所以上
実績値	2	2	3	3		か所
目標に対する達成率	100%	100%	150%	100%		単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	50%	50%		
評価	○	○	◎	○		
PLAN: 取組内容	一時預かり事業					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	あいの保育園、認定こども園えだがわ、伊野幼稚園において実施					
CHECK: 分析	一時的に家庭での保育が困難となる場合や、保護者の育児疲れ等により一時預かり事業への利用ニーズが高まっている。一時預かり事業を3園で実施し、受け入れ体制の充実を図った。					
ACTION: 今後の対応	引き続き、保護者のニーズに沿った支援体制を検討する。					

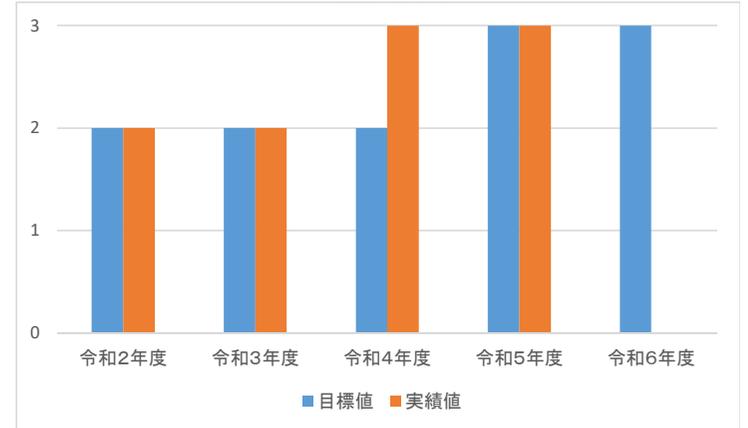
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【一時預かり事業】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

12

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備
項目	★	病後児保育事業

担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★病後児保育事業	3	か所	0	か所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	-	-	3	3	3	か所
実績値	-	-	3	3		か所
目標に対する達成率	-	-	100%	100%		単年度目標
基準値に対する増減率	-	-	300%	300%		
評価			○	○		

PLAN: 取組内容	病後児保育事業
------------	---------

DO: 実績 (事業内容等を記載)	いの町総合健康センター内、吾北中央公民館内、本川プラチナ交流センター内において実施
----------------------	---

CHECK: 分析	保護者の子育てと就労の両立支援を目的に、病後児保育事業を旧伊野地区、吾北地区、本川地区の3拠点において実施した。
-----------	--

ACTION: 今後の対応	保護者のニーズ及び提供体制により実施を検討する。
---------------	--------------------------

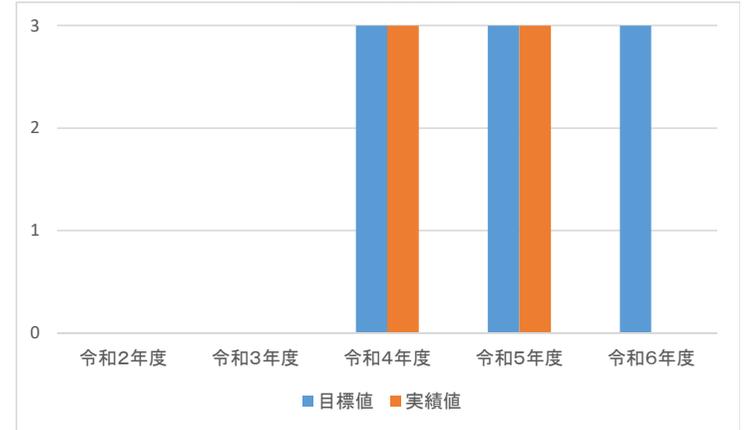
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【病後児保育事業】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

13

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	(2)(1)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	地域子育て支援拠点事業の実施				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★地域子育て支援拠点事業の実施		1	か所	1	か所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	1	1	1	1	1	か所
実績値	1	1	1	1		か所
目標に対する達成率	100%	100%	100%	100%		単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%	0%		
評価	○	○	○	○		
PLAN: 取組内容	地域子育て支援拠点事業 妊娠期から子育て家庭への支援の充実。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	地域子育て支援拠点として、「ぐりぐらひろば」1か所を、いの町総合健康センターに開設。(妊婦、子育て家庭を対象とした交流の場の提供と日常的な見守り。)保育士を配置し、妊娠期から子育て期までの段階に応じた、きめ細かな支援を行い、出産や育児への不安を軽減する取組を展開した。また、関係機関や地域と連携し、子育て家庭を地域ぐるみで見守る支援体制の整備を図った。					
CHECK: 分析	町内唯一の子育て支援拠点であり、特に未就園児の子育て家庭を包括的に支援する場として重要な事業である。子育て家庭の孤立を予防し育児不安の軽減に繋げるためにも、妊婦や子育て家庭が他者と出会い交流できる仕組みを、意図的に作りだすことが求められている。					
ACTION: 今後の対応	引き続き、妊娠期から子育て期までの包括的な支援を目指して、保健・福祉と連携した切れ目のない子育て支援体制を強化していく。また、地域全体で子育てを支え合う取組を推進し、安心して子育てができる地域づくりにつなげる。					

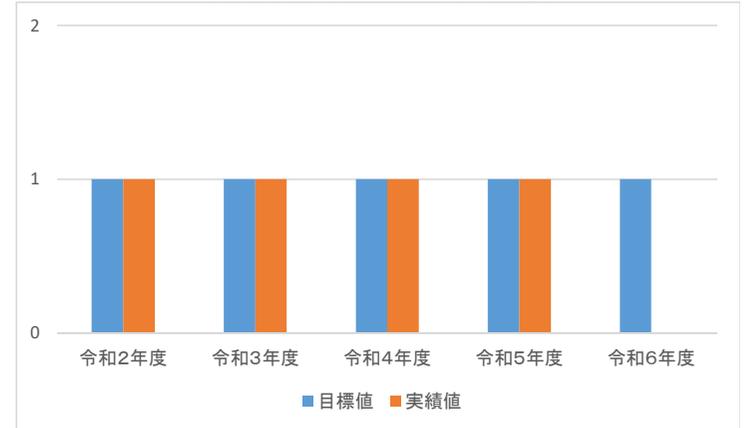
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【地域子育て支援拠点事業の実施】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

14

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する				
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備				
項目	★	放課後児童クラブへの主任支援員配置				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★放課後児童クラブへの主任支援員配置	2	人以上	2	人	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	2	2	2	人以上
実績値	2	2	2	2		人
目標に対する達成率	100%	100%	100%	100%		単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%	0%		
評価	○	○	○	○		
PLAN:取組内容	令和6年度までの間 児童クラブへ主任支援員を2名以上配置					
DO:実績 (事業内容等を記載)	伊野小学校ひまわり児童会と枝川小学校さくらんぼ児童会に1名ずつ配置できた。					
CHECK:分析	主任支援員を配置することにより、パソコンを使用した簡易な事務処理やおやつの買い出し、学校との情報共有を他の支援員が出勤する14時より前に行うことができ、スムーズなクラブ運営をすることが可能となっている(ひまわり児童会やさくらんぼ児童会のような大規模な児童クラブの場合、14時以降にこのような業務を行うと児童の育成支援に支障が出る)。					
ACTION:今後の対応	現在主任支援員が配置されている児童クラブには継続して主任支援員を配置することで、スムーズなクラブ運営を継続していく。また、現在主任支援員が配置されていない小規模な児童クラブにおいてもクラブ運営をスムーズに行っていくために配置を検討していく。					

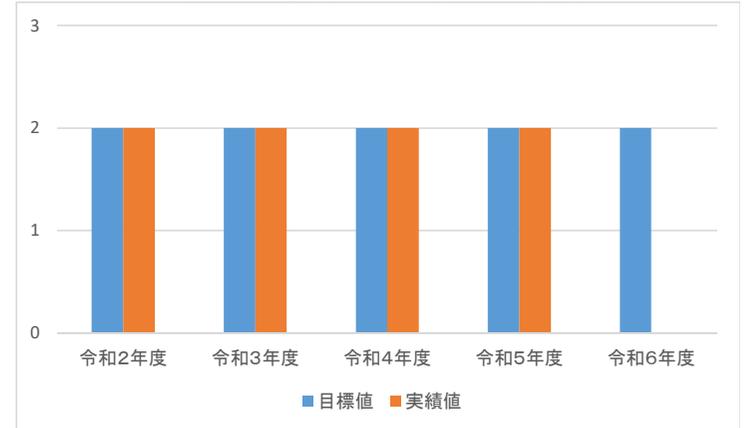
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【放課後児童クラブへの主任支援員配置】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

15

基本目標	3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する					
基本的方向	(1)(2) 誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する					
具体的な施策	(ア) 安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する					
項目	②① 妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備					
★	放課後児童クラブ常勤支援員の専門資格取得者率					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★放課後児童クラブ常勤支援員の専門資格取得者率		50	%以上	- %	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	50	50	50	50	50	%以上
実績値	55	81	72	89		%
目標に対する達成率	110%	162%	144%	178%		単年度目標
基準値に対する増減率	-	-	-	-		
評価	◎	◎	◎	◎		
PLAN: 取組内容	令和6年度までの間 直営の放課後児童クラブにおける常勤支援員の放課後児童支援員認定資格取得者を15名以上					
DO: 実績 (事業内容等を記載)			常勤支援員数	認定資格取得者数	※令和5年3月31日現在	
	ひまわり児童会(伊野小)	3	3	3	取得率 89.5%	
	なのはな児童会(伊野小)	5	5	5		
	さくらんぼ児童会(枝川小)	6	4	4		
	ホットハウス児童会(枝川小)	3	3	3		
	たんぼぼ児童会(川内小)	1	1	1		
	むささび児童会(吾北小)	1	1	1		
	合計	19	17			
CHECK: 分析	高知県が開催する放課後児童支援員認定資格研修は年1回(4日間)開催され、令和5年度は受講要件を満たす3名(補助支援員除く)が資格を取得したが、有資格者の離職があったため、取得者数は令和4年度と比べると1名増に留まった。					
ACTION: 今後の対応	受講要件を満たす者には受講するよう、あらゆる機会を通じて周知徹底する。また、常勤支援員に限らず補助支援員に対しても、研修の案内を行い、受講を依頼する。					

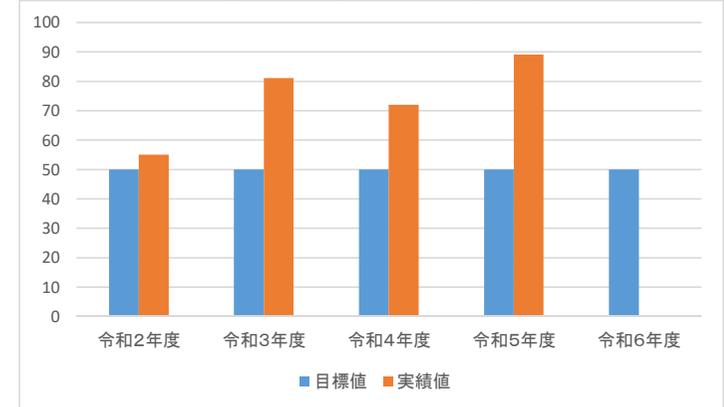
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【放課後児童クラブ常勤支援員の専門資格取得者率】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

16

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する
基本的方向	(1)(2)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進・女性の活躍の場を拡大する
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築・女性の活躍の場を拡大する
	②①	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進・働き続けられるための環境の整備
項目	★	放課後子ども教室開設数(週2回以上開設箇所)

担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★放課後子ども教室開設数(週2回以上開設箇所)	5	か所以上	5	か所	
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	5	5	5	5	5	か所以上
実績値	5	5	5	5		か所
目標に対する達成率	100%	100%	100%	100%		単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%	0%		
評価	○	○	○	○		

PLAN: 取組内容	令和6年度までの間 週2回以上開設箇所5箇所以上
------------	--------------------------

DO: 実績 (事業内容等を記載)	枝川小学校放課後子ども教室・伊野南小学校放課後子ども教室・伊野小学校放課後子ども教室・神谷小学校放課後子ども教室・長沢小学校放課後子ども教室において週2回以上の開設を行った。
----------------------	---

CHECK: 分析	5箇所において週2回以上の開設を行い、放課後における学習活動等の充実を図ることができた。
-----------	--

ACTION: 今後の対応	今後においても継続して放課後学習活動の充実を図っていく。現状の取組が継続できる体制の確保と予算措置を継続して確保していきたい。
---------------	---

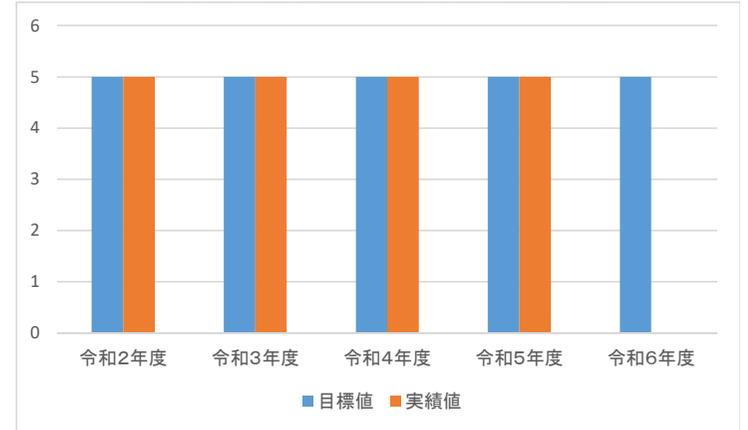
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【放課後子ども教室開設数(週2回以上開設箇所)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3 連番 17

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(2)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進				
項目	★	4か月児健診受診者アンケート ブックスタート絵本活用率				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:令和元年度	
	令和6年度				実績等	
教育委員会	★4か月児健診受診者アンケート ブックスタート絵本活用率		90	%以上	97.8	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	90	90	90	90	90	%以上
実績値	0	0	91	90		%
目標に対する達成率	0%	0%	101%	99%		単年度目標
基準値に対する増減率	-100%	-100%	-7%	-8%		
評価	×	評価なし	◎	○		
PLAN:取組内容	<p>■ 妊婦、乳幼児親子への読み聞かせや本との出会い事業の推進 (心をそだてる人財育成推進事業)</p>					
DO:実績 (事業内容等を記載)	<p>プレママほっとルームへの配本 町内小中学校図書室支援 4か月児健診訪問(ブックスタートセット配布73組) ぐりぐらひろば訪問(おはなし会)</p>					
CHECK:分析	<p>4か月児健診対象者75組のうち73組(健診参加70組ほけん福祉課経由3組)にブックスタートセットを配布した。7か月児健診の案内にアンケートを同封し、健診時に回収する方法でアンケートを実施し67名からの回答が得られた。配布した絵本の活用についての設問に対し、一番多かった回答は「何度か読んだ(36)」で「よく読んでいる(24)」と合わせると89.5%が肯定的な回答であった。「読んでいない(1)」と回答した方は「育児と仕事の両立で忙しい」を理由として選択しており、読み聞かせができる状況として「時間や周りの助けがある状況ができれば」と選択していた。</p>					
ACTION:今後の対応	<p>アンケートの自由記述欄から、もう少し大きい子の本だと思っていたが絵や言葉を喜んだ、反応から成長を感じる、お気に入りの1冊になったなどの感想や、紙が厚い本がいい、絵本が選べたらよいなどのご意見もいただいた。今後の取組の参考にし、事業の充実を図る。ブックスタートセットの配布率100%を目指すとともに、おはなし会などを通じて発達段階や年齢に応じて家庭で実践できる読み聞かせや触れ合いあそびなどを紹介する。</p>					

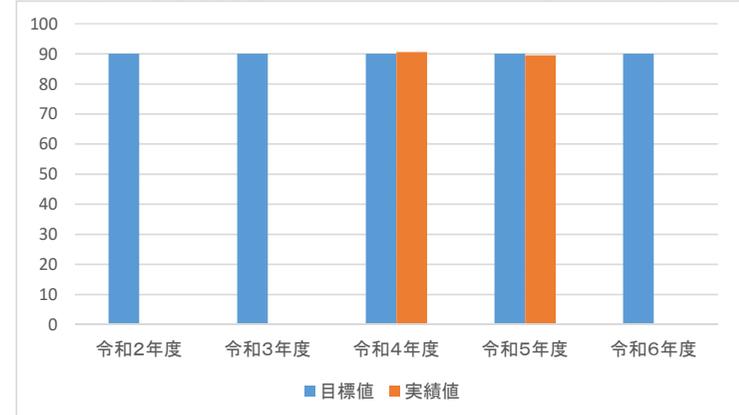
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【4か月児健診受診者アンケート ブックスタート絵本活用率】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

18

基本目標	3	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する					
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進					
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築					
	(2)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進					
項目	★	4か月児健診受診者アンケート 親子の触れ合いに役立つと感じた割合					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度		
	令和6年度				実績等		
教育委員会	★4か月児健診受診者アンケート 親子の触れ合いに役立つと感じた割合	100	%	100	%		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値		100	100	100	100	100	%
実績値		0	0	100	99		%
目標に対する達成率		0%	0%	100%	99%		単年度目標
基準値に対する増減率		-100%	-100%	0%	-2%		
評価		×	評価なし	○	△		
PLAN: 取組内容	<p>■ 妊婦、乳幼児親子への読み聞かせや本との出会い事業の推進 (心をそだてる人財育成推進事業)</p>						
DO: 実績 (事業内容等を記載)	<p>プレママほっとルームへの配本 町内小中学校図書室支援 4か月児健診訪問(ブックスタートセット配布73組) ぐりぐらひろば訪問(おはなし会)</p>						
CHECK: 分析	<p>4か月児健診対象者75組のうち73組(健診参加70組ほけん福祉課経由3組)にブックスタートセットを配布した。7か月児健診の案内にアンケートを同封し健診時に回収する方法でアンケートを実施し67名からの回答が得られた。絵本が赤ちゃんとの触れ合いに役立つと思うかの設問に対し、無記入の1名以外が「はい」と回答した。乳幼児期から絵本が身近にある環境や読み聞かせを体験する機会を提供する取組(ブックスタート)は、親子の愛着形成の促進に寄与していると考える。</p>						
ACTION: 今後の対応	<p>アンケートの自由記述欄から、読み聞かせを通して兄弟児との交流が図れる、泣いていても絵本を読んであげると笑顔になる、などの感想や、紙が厚い本がいい、絵本が選べたらよいなどのご意見もいただいた。今後の取組の参考にし、事業の充実を図る。ブックスタートセットの配布率100%を目指すとともに、おはなし会などを通じて発達段階や年齢に応じて家庭で実践できる読み聞かせや触れ合いあそびなどを紹介する。</p>						

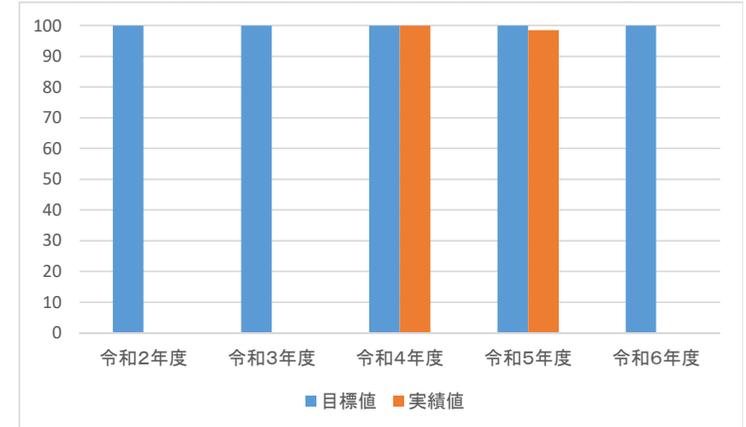
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【4か月児健診受診者アンケート 親子の触れ合いに役立つと感じた割合】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	<p>アンケートの回答が「役立つと感じない」という否定的な内容であれば△という評価は理解できるが、今回は未記入が1名であったため評価の考え方を検討したい。</p>
総合評価	△ 目標値未満

基本目標4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

基本的方向	連番	担当課	具体的な施策(詳細)	単位	R2 目標値	R2 実績値	R3 目標値	R3 実績値	R4 目標値	R4 実績値	R5 目標値	R5 実績値	総合評価	R6(最終年度) 時点
(1) 中心市街地内の商店街通りエリアでにぎわい創出事業を展開し、若者流出を食い止め、まちなかに活力を取り戻す取組の推進強化を図る	1	産業経済課	中心市街地 新規開業事業所数	事業所	2	2	2	8	1	4	1	2	◎	7
	2	産業経済課	中心市街地内商店街通りの通行量(定点5ヵ所調査合計値)	平日 人	-	-	871	1,326	890	1,206	909	990	◎	928
				休日 人	-	-	647	1,162	666	1,077	685	1,003		705
(2) 中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援 (ア) 中山間地域の維持・創生	3	総合政策課・西北産業課・本川産業建設課	集落活動センターの開設	か所	2	2	2	2	2	2	2	2	○	3
	4	ほけん福祉課	あったかふれあいセンター等の整備 拠点	か所	2	2	2	2	2	2	2	2	○	2
	5	ほけん福祉課	あったかふれあいセンター等の整備 サテライト	か所	3	3	3	3	3	3	3	3	○	3
	6	本川住民福祉課	本川地区内の路線バス維持に向けた雇用	人	3	4	3	6	3	6	3	5	◎	3
	7	総合政策課	地域課題の解決に資する新たなローカルビジネスの創出数	件	-	-	-	-	-	-	0	0	評価なし	1
	8	総合政策課	いの町独自の地域資源を活用したプログラム参加者数	人	-	-	-	-	-	-	30	5	△	60
	9	総合政策課	いの町の地域課題解決に共に取り組んでくれる関係人口	人	-	-	-	-	-	-	50	0	△	100
	10	総合政策課	いの町の地域課題解決に共に取り組んでくれる企業の連携数	件	-	-	-	-	-	-	0	0	評価なし	3

※連番1は、基本目標1連番28の再掲分

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4

連番 1

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(1)	中心市街地内の商店街通りエリアでにぎわい創出事業を展開し、若者流出を食い止め、まちなかに活力を取り戻す取組の推進強化を図る				
具体的な施策	(ア)	中心市街地内の商店街通りエリアににぎわい創出推進の強化				
	①	商店街通りエリアににぎわい創出推進強化				
項目	★	中心市街地 新規開業事業所数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
産業経済課	★中心市街地 新規開業事業所数	7	事業所	7	事業所	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	2	2	1	1	1	事業所
実績値	2	8	4	2		事業所
目標に対する達成率	100%	400%	400%	200%		複数年度
基準値に対する増減率	-71%	14%	-43%	-71%		
評価	○	◎	◎	◎		
PLAN: 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業立地の取り組み（いの町産業振興奨励金）等 ■ いの町空き店舗対策家賃補助助成事業（創業支援事業） ■ 第2期いの町中心市街地活性化計画を策定（R4.12月） 					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	<p>いの町産業振興奨励金（高知食糧㈱たまごセンター）を実施した。</p> <p>いの町空き店舗対策家賃補助助成事業 5件:MATE(美容室)、ラグーン(エステ)、駅前食堂楽家(飲食)、廣福堂(雑貨)、カラアゲ押し鶏(飲食)を実施した。いの町ホームページに創業支援について掲載した。</p> <p>新規開業 2件:oak bakery(パン屋)、ライアンズキッチン(飲食)</p>					
CHECK: 分析	<p>近年は安定した新規出店がある。同エリアの店舗数の推移は、H27・77店舗、R1・73店舗、R4・73店舗となっており、廃業する店舗もある中、商店街としての役割を維持している。</p> <p>毎年一定の新規出店の相談があるが、利用可能な空き店舗が少なく、出店機会を逃している。</p> <p>中心市街地で開催されるイベント等には、同エリアの事業者への積極的な参加を呼びかけ、店舗の認知度・売上げ向上を促した。</p>					
ACTION: 今後の対応	<p>使える空き店舗の継続した掘り起しが必要。れんけいこうちや商工会等と連携して情報収集や情報発信力を向上させる。</p> <p>新規開業した事業者の情報等を知ってもらう機会を作る。</p>					

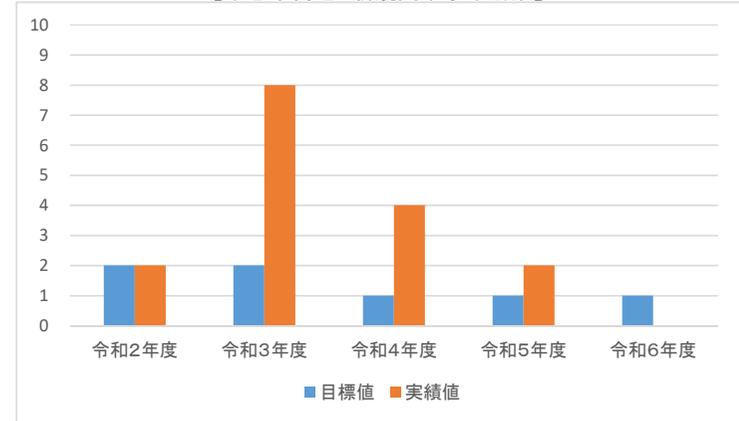
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【中心市街地 新規開業事業所数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4

連番

2

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる					
基本的方向	(1)	中心市街地内の商店街通りエリアでにぎわい創出事業を展開し、若者流出を食い止め、まちなかに活力を取り戻す取組の推進強化を図る					
具体的な施策	(ア)	中心市街地内の商店街通りエリアににぎわい創出推進の強化					
	①	商店街通りエリアににぎわい創出推進強化					
項目	★	中心市街地内商店街通りの通行量(定点5か所調査合計値)					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値・令和元年度		
	令和6年度				実績等		
産業経済課	★中心市街地内商店街通りの通行量(定点5か所調査合計値)	平日928人	人	-	人		
		休日705人					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
						単位	
		目標値(平日)	871	890	909	928	人
		実績値(平日)	1326	1,206	990		人
		目標値(休日)	647	666	685	705	人
		実績値(休日)	1162	1,077	1,003		人
		目標に対する達成率	164%	147%	125%		
		基準値に対する増減率	-	-	-	-	単年度
評価		◎	◎	◎			
PLAN: 取組内容	<p>①まちづくりのための社会実証実験・・・新たなコンテンツの実施により商店街ににぎわいを作ることができるか検証を行う</p> <p>②住宅店舗等活用可能性調査 中心市街地エリアにある空き店舗等の建物の基本的構造の調査と具体的な活用方法の提示、エリアマネジメントについての調査事業を実施する</p> <p>③空き店舗家賃支援事業 空き店舗を活用した新規出店者に対し、家賃の補助を行うことで新規出店を促す</p> <p>④中心市街地空き店舗等活用事業 空き店舗等の玄関分離、トイレ設備増設等の改築整備の補助することで新規出店を後押しする</p>						
DO: 実績 (事業内容等を記載)	<p>■R5.8.16実施おらんくのサマーセミナー、R5.11.23実施いの博覧会、R6.1.2,3実施ギャラリー・コパ書初め体験</p> <p>■中心市街地エリアで空き店舗を活用して、新規出店した事業者に対し、1/2、月50,000円を上限に補助を行った。・・・補助件数5件、補助金額1,112,500円</p> <p>■補助件数0件</p>						
CHECK: 分析	<p>■参加者された方の反応は良く、商店街に人を呼び込むコンテンツとして有効と感じた。</p> <p>■家賃補助があることで、中心市街地エリアへ出店する一つの要因となっている。</p> <p>■補助金を活用して空き店舗を貸し出したいという要望自体がなかった。</p>						
ACTION: 今後の対応	<p>■今後も中心市街地ににぎわいを生むための様々な企画を試していく。</p> <p>■一定、新規出店のきっかけとなっていることから継続して実施していく。</p> <p>■空き店舗を所有している方等へのヒアリング等を行い、補助金の要件について協議を行う。</p>						

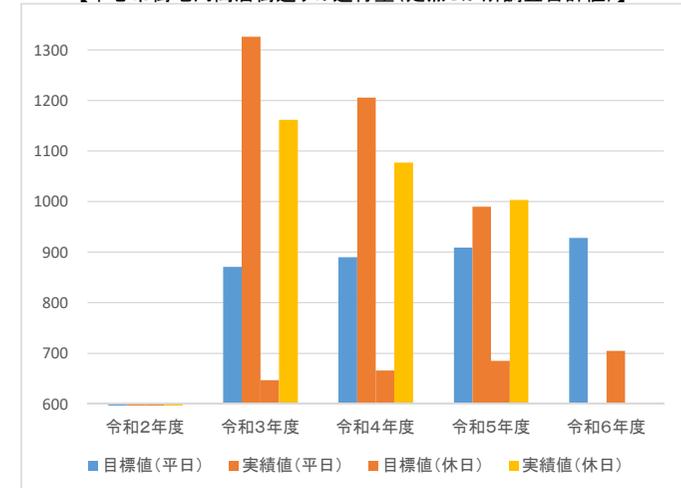
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【中心市街地内商店街通りの通行量(定点5か所調査合計値)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4 連番 3

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(1)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生				
	①	小さな拠点の開設・強化				
項目	★	集落活動センターの開設数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値・令和元年度	
	令和6年度				実績等	
総合政策課・吾北産業課・本川産業建設課	★集落活動センターの開設数		3	か所	2	か所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	2	2	2	2	3	か所
実績値	2	2	2	2		か所
目標に対する達成率	100%	100%	100%	100%		複数年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%	0%		
評価	○	○	○	○		
PLAN: 取組内容	中山間地域の維持・創生に向け、小さな拠点として「集落活動センター（地域の支え合いや活性化の拠点）の整備促進や小規模で多機能な高知福祉の支援拠点として、あったかふれあいセンターの整備・機能強化を図るとともに、地域の資源や特性を活かした産業づくり支援を促進する。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	<p>【ふれあいの里柳野】 イタダリの生育状況が順調で、収量が昨年度比較で1.2倍となった。また、加工場の改修・厨房設備機器の導入により利用がしやすくなり、イタダリの皮剥ぎから塩漬けまでの一次加工や、地域農産物を活用した加工品の試作を行った。</p> <p>【氷室の里】 原木まいたけの販売を高知市の金高堂で1日間、越知町イベントで2日間、UFOラインウォークで4日間、山中家住宅囲炉裏体験イベントで1日間の計8日間行った。また、まいたけ収穫体験イベントを1日間、森林軌道を活用した体験イベントを1日間実施し、合計14名誘客した。まいたけ販売額2,313,001円のうち出店・イベントでの販売額は211,480円であった。</p>					
CHECK: 分析	<p>【ふれあいの里柳野】 直売施設の運営、配食サービス、イタダリの栽培等、施設・環境を十分に活用した取組がなされている。また、新型コロナウイルス感染症の影響により中止していたビアガーデンや新そばとこんにやく祭りを復活させた。</p> <p>【氷室の里】 まいたけの販売額は2,313,001円で前年比98.2パーセント。なめこの販売額は178,960円で前年比149.4パーセント。じゃがいもの収穫は獣害により無し。また、まいたけ収穫体験イベントでは、参加者全員が「満足」というアンケート結果だった。</p>					
ACTION: 今後の対応	<p>【ふれあいの里柳野】 令和元年度から栽培しているイタダリの加工品及び新商品開発に向けた検討・試作を行っており、ふれあいの里柳野と道の駅633美の里で販売開始に向けて、引き続き、高知県地域支援企画員・中央西農業振興センターと連携し支援していく。</p> <p>【氷室の里】 まいたけを中心とするきのこの生産・販売・流通体制は確立されてきた。また、5年度に獣害により収穫できなかった本川じゃがいもの栽培を、獣害対策を行ったうえで、継続して実施する。まいたけ収穫体験イベントは大変好評であったことから、6年度も継続して行うことにより、地域の魅力を発信しつつ、関係人口の増加につなげていく。</p>					

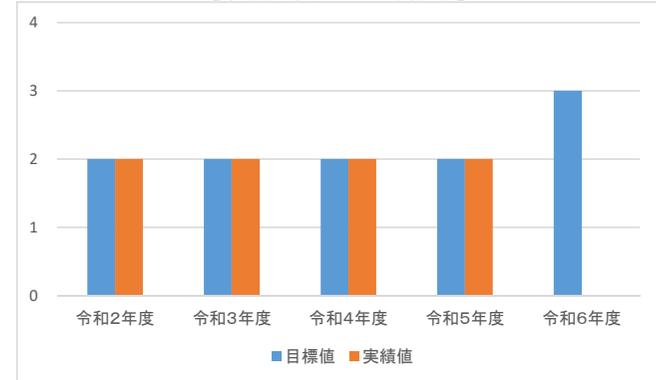
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【集落活動センターの開設数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	令和6年度目標値の3か所開設が達成できるように取り組んでいただきたい。
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4 連番 4

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(2)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生				
	①	小さな拠点の開設・強化				
項目	★	あったかふれあいセンター等の整備 拠点				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)					基準値: 令和元年度
	令和6年度					実績等
ほけん福祉課	★あったかふれあいセンター等の整備 拠点	2	か所	2	か所	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		2	2	2	2	2
実績値		2	2	2	2	2
目標に対する達成率		100%	100%	100%	100%	100%
基準値に対する増減率		0%	0%	0%	0%	0%
評価		○	○	○	○	○
PLAN: 取組内容	<p>【5か年度の目標】</p> <p>子どもから高齢者まで年齢や障害の有無に関わらず、誰もが気軽に集える場所を提供するとともに、地域住民の健康づくり、生きがいづくり活動や要配慮者宅の訪問、相談、つなぎ、生活支援を行う。集いでは、介護予防体操や脳トレ、認知症カフェ、創作活動、講師を招いての講義などさまざまな行事を行う。</p> <p>【伊野】利用の少ない障害者や子どもなど、幅広い方が利用できる居場所づくりに取り組む。</p> <p>【吾北】訪問を強化</p>					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	<p>【伊野】</p> <p>高齢者の集いだけでなく、子どもの集いや閉じこもりがちな中堅・若年代が就労体験ができる場所としての機能を果たすよう工夫した。農福連携、紙福連携を行うことで、社会との接点を持つことが難しかった人達が少しずつやりがいを見つけ、他者と交流する習慣ができてきた。また、土曜日開所も行った。</p> <p>【吾北】</p> <p>コロナが5類に移行したことにより活動がしやすくなり、各関係機関と連携し、地域団体の活動再開を支援できた(ミニデイ1件・体操グループ2件)うえに、こども園との連携や食改・民生委員との交流もできた。</p> <p>なお、訪問については、見守りを兼ね給配食サービスの集金を実施し、各地域をまわることができた。</p>					
CHECK: 分析	<p>【伊野】</p> <p>毎月第4土曜日に開所したり、子ども向けイベントを開催したことにより、多世代の交流が図られた。</p> <p>また、194号沿いの地域のサテライト事業開始に向け活動を開始するなど、空白地域の解消に向けて前進していると思われ、農福連携も順調に進んでいるが、更なる発展を願うところである。</p> <p>なお、訪問については、少し弱いところがあると分析される。</p> <p>【吾北】</p> <p>住民・関係機関との連携は強化できたが、ひきこもりがちな若者や中高年層の状況把握と居場所づくりの充実がやや低い。</p>					
ACTION: 今後の対応	<p>【伊野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軌道に乗った農福連携事業をさらに継続・強化していく(農産物販売イベントの開催など) ・194号沿い山間地域のサテライト事業を実施 ・ボランティアの育成を目的とした講演会の実施 ・保健師と連携し、5年度訪問できていない地域への訪問など <p>【吾北】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりがちな若者や中高年層の状況把握と居場所づくり ・中山間地域という特性を考慮し、更なる訪問の強化 					

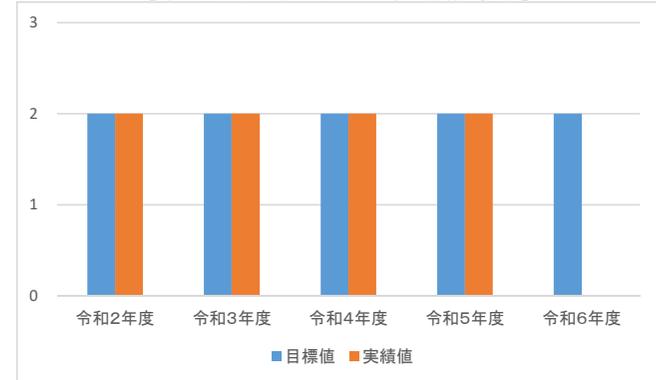
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【あったかふれあいセンター等の整備 拠点】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる			
基本的方向	(2)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」等の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援			
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生			
	①	小さな拠点の開設・強化			
項目	★	あつたかふれあいセンター等の整備 サテライト			
担当課	重要業績評価指標(KPI)			基準値: 令和元年度	
	令和6年度			実績等	
ほけん福祉課	★あつたかふれあいセンター等の整備 サテライト	3	か所	3	か所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	3	3	3	3	3
実績値	3	3	3	3	3
目標に対する達成率	100%	100%	100%	100%	100%
基準値に対する増減率	0%	0%	0%	0%	0%
評価	○	○	○	○	○
PLAN: 取組内容	<p>吾北地区における3地区の特性を把握したうえで、サテライトならではの様々な課題に対応できる活動を目指す。ニーズ調査において下八川、三水は地域の集まり(体操等)が少ないという声があったことを念頭に置き、介護予防の体操や創作活動などを行うと同時に、買い物支援など生活支援も行っていく。</p> <p>また、高齢者のみならず、子どもの集いを開催し、世代間交流するなど、地域の高齢者が孤立しないような活動を行っていく。</p>				
DO: 実績 (事業内容等を記載)	<p>集いの場へ自力で参加できない利用者については送迎を行い3箇所のサテライトで集い等を実施。</p> <p>【サテライト清水】 実施場所: 清水公民館/日時: 毎月第1・3木曜日 13:00~15:00 開催回数: 22回</p> <p>【サテライト下八川】 実施場所: 下八川公民館/日時: 毎月第2木曜日 13:00~15:00 開催回数: 11回</p> <p>【サテライト三水】 実施場所: 三水防災コミュニティ/日時: 第4木曜日 10:00~12:00 開催回数: 9回</p>				
CHECK: 分析	<p>コロナが5類に移行したので活動はしやすくなった。</p> <p>出張型集いを行うことで送迎時間の短縮や地域でのミニデイや体操がない地区の方も集いの場へ来ることができ、社会参加できている。</p> <p>今後も、送迎時間を短縮する事は利用者の負担も少ないので、サテライトによる集いをより充実させていきたい。</p>				
ACTION: 今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・免許返納等で自力で来れなくなった方へ送迎も対応。 ・制度の狭間の方や、地域の集まりがない方への誘い出し。 ・サテライト清水では引き続き町公用車にて、送迎を実施。 ・各サテライトによって利用者のレベルもバラつきがみられ始めたので集い・サテライトの内容を検討していく。 				

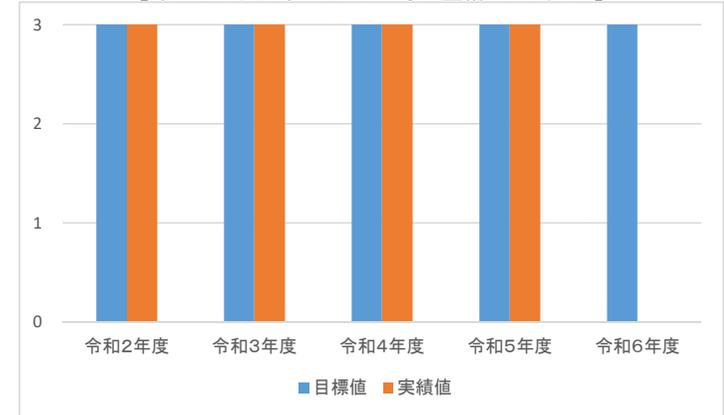
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【あつたかふれあいセンター等の整備 サテライト】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4

連番

6

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる				
基本的方向	(2)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」等の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生				
	②	中山間地域の資源や特性を生かした産業づくりの支援				
項目	★	本川地区の路線バス維持に向けた雇用				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度	
	令和6年度				実績等	
本川住民福祉課	★本川地区の路線バス維持に向けた雇用		3	人	3	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値	3	3	3	3	3	人
実績値	4	6	4	5		人
目標に対する達成率	133%	200%	133%	167%		単年度
基準値に対する増減率	33%	100%	33%	67%		
評価	◎	◎	◎	◎		
PLAN: 取組内容	市町村有償運送事業(長沢～寺川間・長沢～大森間)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	会計年度任用職員を中心とした5名体制で、円滑なバス運行ができた。					
CHECK: 分析	地域住民にとってバス路線の存在は単なる移動手段にとどまらず、安心して地域で生活していく心のゆとりにつながり、有償運送事業による路線バスの維持は、非常に大きな意義がある。 また、それを担う運転手の雇用は、居住者の定着につながり、ひいては地域の活性化に寄与する。					
ACTION: 今後の対応	高齢により運転免許証自主返納者の増加が見込まれるなか、受け皿となる交通手段として有償運送事業を継続していく。					

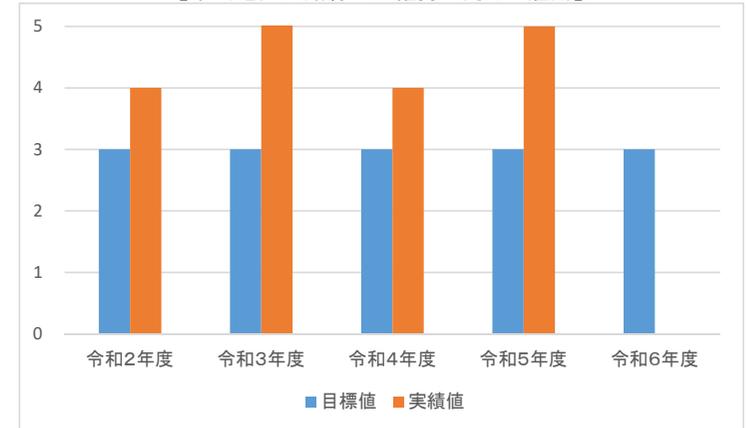
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【本川地区の路線バス維持に向けた雇用】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	◎ 目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4

連番

7

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる								
基本的方向	(2)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」等の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援								
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生								
	③	中山間地域の地域資源や地域課題を活用した新たなローカルビジネスの創出								
項目	★	地域課題の解決に資する新たなローカルビジネスの創出数								
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度					
	令和6年度				実績等					
総合政策課	地域課題の解決に資する新たなローカルビジネスの創出数	1	件	0	件					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位				
目標値	/				0	1	件			
実績値					0				件	
目標に対する達成率									0%	単年度
基準値に対する増減率									0%	
評価									評価なし	
PLAN: 取組内容	新たなローカルビジネス創出事業という位置づけで、本川小学校校舎・体育館、脇ノ山幼稚園、下八川小学校 以上4つの遊休施設を活用し地域課題解決に取り組む創業者への支援を実施する。									
DO: 実績 (事業内容等を記載)	効果的な事業とするため、事業実施に対するノウハウを有する事業者へ委託し取り組んだ。令和5年度は各施設が立地する地域の特徴、課題分析、民間ヒアリング等可能性調査を実施し、創業者誘致に係る戦略を策定した。									
CHECK: 分析	課題分析においては、令和3年度に実施した集落実態調査の結果も参考とした。 主な課題としては、「少子高齢化・人口減少による人材不足」「地域の賑わい低下」「中山間地域における生活・生業の確保」が挙げられる。									
ACTION: 今後の対応	令和5年度の実績により、優れた人材や事業者を確保し、地域への波及効果を生み出すことが必要と考える。 これを基本的な方針とし、令和6年度は創業者を公募・選定を目標とし、プロモーション活動を実施する。									

評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【地域課題の解決に資する新たなローカルビジネスの創出数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	評価なし

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる					
基本的方向	(2)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」等の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援					
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生					
	(3)	中山間地域の地域資源や地域課題を活用した新たなローカルビジネスの創出					
項目	★	いの町独自の地域資源を活用したプログラム参加者数					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度		
	令和6年度				実績等		
総合政策課	いの町独自の地域資源を活用したプログラム参加者数	60	人	0	人		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値					30	60	人
実績値					5		人
目標に対する達成率					17%		単年度
基準値に対する増減率					500%		
評価					△		
PLAN: 取組内容	<p>新たなローカルビジネス創出事業という位置づけで、本川小学校校舎・体育館、脇ノ山幼稚園、下八川小学校 以上4つの遊休施設を利活用し地域課題解決に取り組む創業者への支援を実施する。</p> <p>町外の人材や企業に対し、いの町に足を運んでもらうための地域資源を活用したツーリズム、研修プログラムなどの造成を行う。</p>						
DO: 実績 (事業内容等を記載)	<p>町外の人材や企業に対するプログラムを実施することとしていたが、委託事業者と協議する中で、明確な活用方針が定まっていない状態では効果的なプログラムの構築及び参加者の集客、成果を出すことが困難と考え、まずは、本川小学校校舎・体育館、脇ノ山幼稚園、下八川小学校の活用方針を定めることとした。</p> <p>活用方針を定める過程として、研修宿泊施設としての活用可能性調査を、高知大学生5名を現地に招いて実施した。</p>						
CHECK: 分析	<p>各遊休施設が立地している地域性を考慮し、本川小学校校舎・体育館、脇ノ山幼稚園については、吹奏楽団などの研修宿泊施設としての活用可能性が見出せた。</p> <p>下八川小学校については、オフィスとしての活用や地域住民の集いの場としての活用の可能性が見出せた。</p>						
ACTION: 今後の対応	<p>令和5年度は民間事業者等からのヒアリング及び現地視察といった外部から見た施設活用の可能性調査を実施した。</p> <p>令和6年度については、地域内の体制構築をすることとし地域住民等を集めたワークショップを実施することと事業者向けモニタリングツアーも併せて実施する予定。</p>						

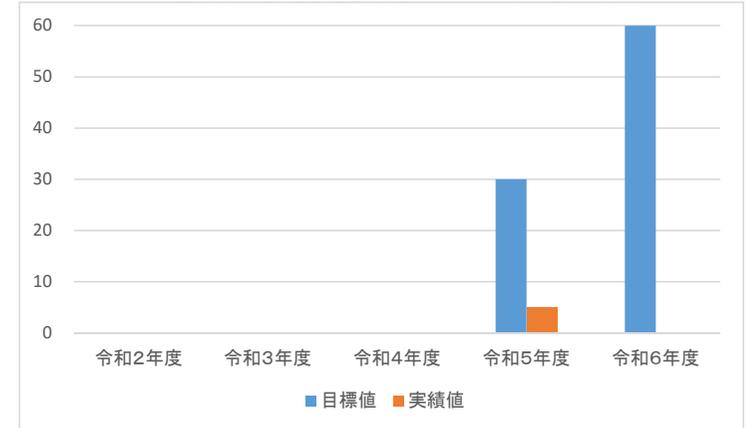
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【いの町独自の地域資源を活用したプログラム参加者数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4

連番

9

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる					
基本的方向	(2)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」等の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援					
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生					
	③	中山間地域の地域資源や地域課題を活用した新たなローカルビジネスの創出					
項目	★	いの町の地域課題解決に共に取り組んでくれる関係人口					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度		
	令和6年度				実績等		
総合政策課	いの町の地域課題解決に共に取り組んでくれる関係人口	100	人	0	人		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値					50	100	人
実績値					0		人
目標に対する達成率					0%		単年度
基準値に対する増減率					0%		
評価					△		
PLAN: 取組内容	<p>新たなローカルビジネス創出事業という位置づけで、本川小学校校舎・体育館、脇ノ山幼稚園、下八川小学校 以上4つの遊休施設を活用し地域課題解決に取り組む創業者への支援を実施する。 継続的に町の課題解決や新たな価値創出に向けて関わり続ける関係人口の創出に取り組む。</p>						
DO: 実績 (事業内容等を記載)	<p>KPI連番8と連動し、令和5年度についてはプログラム実施より、活用方針を定めるための民間ヒアリングや施設の現地視察を重点的に実施した。 関係人口の位置づけにはならないが、可能性調査に参加した高知大学生5名、委託事業者及び委託事業者と連携し事業に携わっていただいた事業者2者、ヒアリングを実施した事業者6者、合計14者と関わりを持つことができた。</p>						
CHECK: 分析	<p>民間ヒアリング及び施設の現地視察といった活用方針を定める取組を重点的に実施したことで、目標値を達成することはできなかったが、遊休施設の可能性を見出すことができた。 また、民間ヒアリングの中で全国的に地域課題解決に対して意欲的な意見や事業者等の動きもあることが分かったため、今後、関係人口を通して取組の輪が広がることが期待できる。</p>						
ACTION: 今後の対応	<p>令和6年度については、事業者向けモニタリングツアーを実施する予定であり、これに参加いただいた方も関わりを作ることで、町の課題解決や新たな価値創出のきっかけにつなげる。</p>						

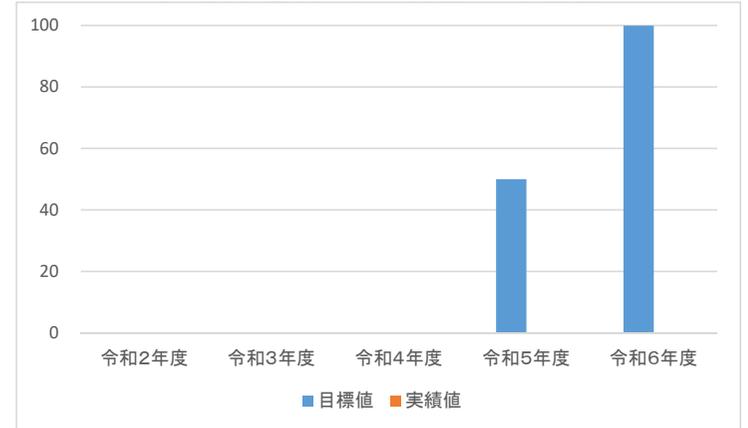
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【いの町の地域課題解決に共に取り組んでくれる関係人口】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4

連番

10

基本目標	4	ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる					
基本的方向	(2)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」等の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援					
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生					
	③	中山間地域の地域資源や地域課題を活用した新たなローカルビジネスの創出					
項目	★	いの町の地域課題解決に共に取り組んでくれる企業の連携数					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値: 令和元年度		
	令和6年度				実績等		
総合政策課	いの町の地域課題解決に共に取り組んでくれる企業の連携数	3	件	0	件		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
目標値					0	3	件
実績値					0		件
目標に対する達成率					0%		単年度
基準値に対する増減率					0%		
評価					評価なし		
PLAN: 取組内容	<p>新たなローカルビジネス創出事業という位置づけで、本川小学校校舎・体育館、脇ノ山幼稚園、下八川小学校 以上4つの遊休施設を利活用し地域課題解決に取り組む創業者への支援を実施する。</p> <p>モニタリングツアーやプロモーション活動を通して、当町の取組に共感いただき地域課題解決に共に取り組む企業との連携を図る。</p>						
DO: 実績 (事業内容等を記載)	<p>今後実施するモニタリングツアーの企画とプロモーション活動の基礎となる活用方針を定めるため、民間ヒアリングや施設の現地施設を重点的に実施した。</p> <p>この取組により、企業と共に取り組む具体的な事業化はできていないが、当町が実施しようと考えている遊休施設を活用した創業支援事業の周知を図ることができた。</p>						
CHECK: 分析	<p>民間ヒアリング及び施設の現地視察といった活用方針を定める取組を重点的に実施した中で、全国的に地域課題解決に対して意欲的な意見や事業者等の動きもあることが分かった。</p>						
ACTION: 今後の対応	<p>令和6年度については、事業者向けモニタリングツアーを実施する予定であり、これに参加いただいた方も関わりを作ることで、町の課題解決や新たな価値創出のきっかけにつなげる。</p>						

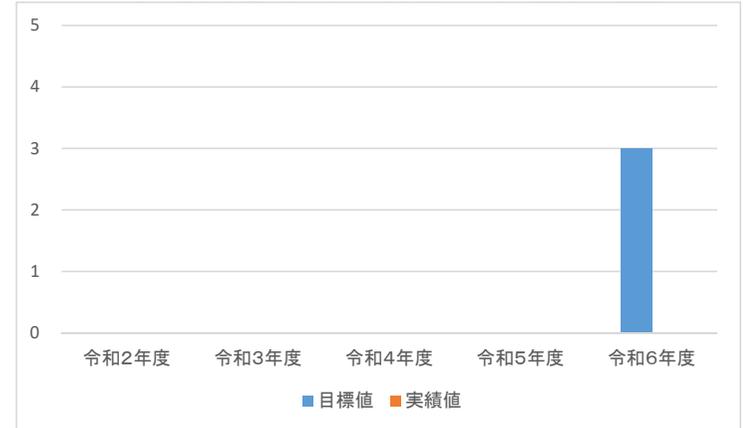
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【いの町の地域課題解決に共に取り組んでくれる企業の連携数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	なし
総合評価	評価なし